

令和 8 年度第 2 回神奈川県公立高等学校協議会 次第

令和 8 年 7 月 30 日 (木) 14 時～
神奈川県私学会館 4 階 講堂

1 議題

- ・ 令和 9 年度の「高等学校生徒入学定員計画」の策定について

2 その他

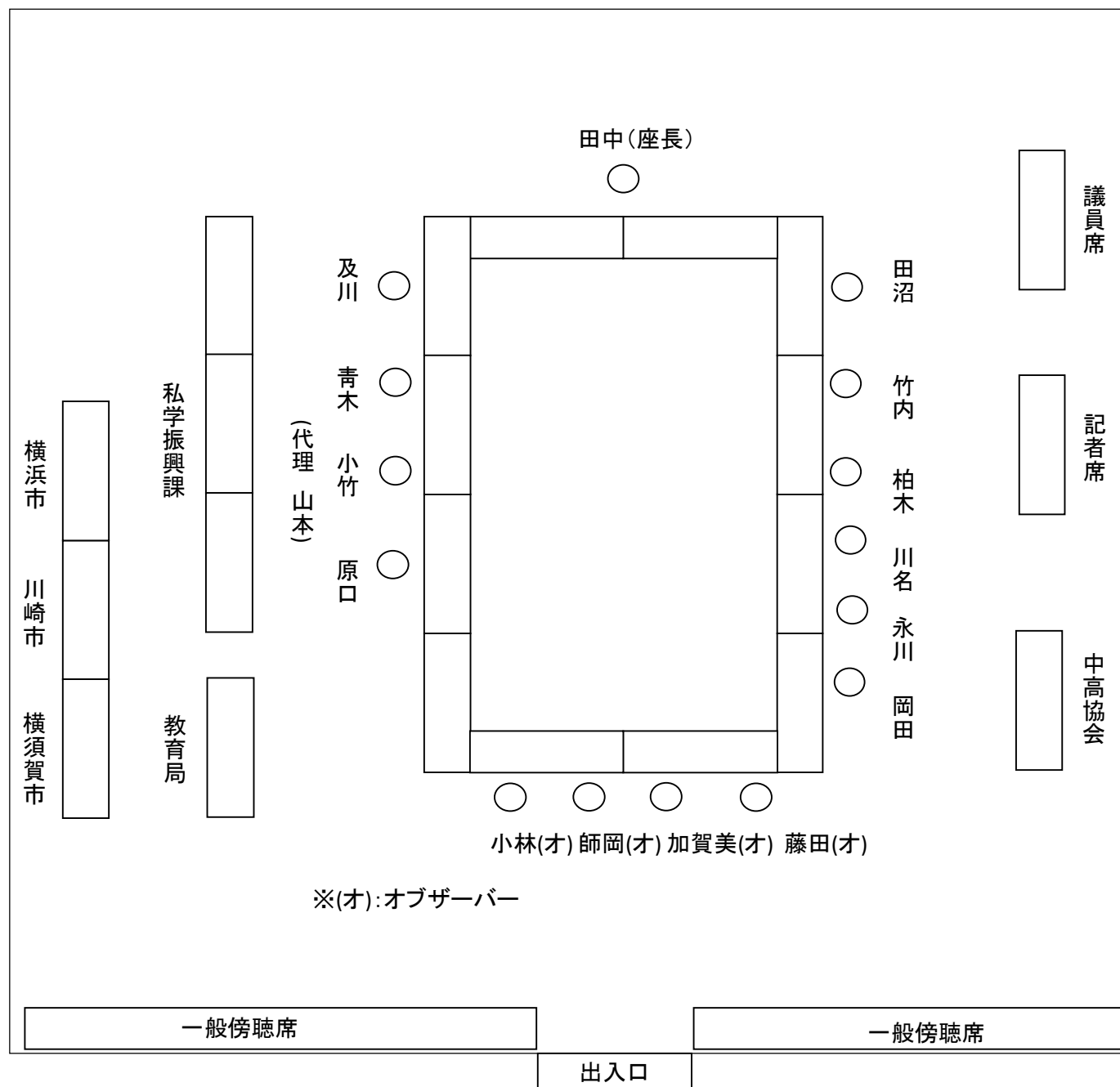
配付資料

- ・ 資料 1 神奈川県公立高等学校協議会委員名簿
- ・ 資料 2 神奈川県公立高等学校協議会座席表
- ・ 資料 3 令和 8 年度入学者選抜実績
- ・ 資料 3－2 県内中学校卒業者の進学率
- ・ 資料 3－3 公立中学校卒業者等の進学率について
- ・ 資料 3－4 高校進学率全国比較表
- ・ 資料 4 令和 9 年度の「高等学校生徒入学定員計画」の策定について（案）
- ・ 資料 4－2 中学校卒業者の動向
- ・ 資料 4－3 地域別公立中学校卒業予定者数
- ・ 資料 4－4 私立高等学校における学費補助の状況
- ・ 資料 4－5 神奈川県高等学校奨学金の状況
- ・ 資料 4－6 私立高等学校における更なる特色・魅力づくりへの県の支援
- ・ 資料 4－7 不登校生徒の現状
- ・ 資料 4－8 長期の欠席を理由とする選抜方法申請書を提出した受検者の状況について
- ・ 資料 4－9 私立高等学校における不登校生徒の受入れ体制整備に対する支援について
- ・ 資料 4－10 令和 8 年度クリエイティブスクール入学者対象アンケート調査結果
- ・ 参考資料 令和 9 年度神奈川県の公立高等学校の入学者の募集及び選抜の日程
神奈川県内公立高等学校入学者選抜期日等に関する申し合わせ事項等

神奈川県公立高等学校協議会委員名簿

氏 名	役 職 等	備 考
たぬま みつあき 田沼 光明	神奈川県私立中学高等学校協会 副理事長	(学)横浜学園理事長・ 横浜学園高等学校校長
たけうち ひろゆき 竹内 博之	神奈川県私立中学高等学校協会 理事	(一財)神奈川県私立中学高等学校 協会生徒募集対策委員会委員長
かしわぎ てるまさ 柏木 照正	神奈川県私立中学高等学校協会 理事	(学)柏木学園理事長
かわな みのる 川名 稔	神奈川県私立中学高等学校協会 理事	横須賀学院長
ながかわ なおふみ 永川 尚文	神奈川県私立中学高等学校協会 監事	(学)富士見丘学園理事長 横浜富士見丘学園中学校・高等学 校校長
おかだ なおや 岡田 直哉	神奈川県私立中学高等学校協会 理事	桐蔭学園高等学校校長
あおき つねお 青木 恒夫	横浜市教育委員会事務局 学校教育部高校教育課長	
こ たけ まこと 小竹 誠	川崎市教育委員会事務局 学校教育部指導課長	
はら ぐち ひさのぶ 原口 尚延	横須賀市教育委員会事務局 学校教育部教育指導課長	
た なか さとし 田中 賢	神奈川県福祉子どもみらい局 子どもみらい部私学振興課長	
おいかわ ひろのぶ 及川 博伸	神奈川県教育委員会教育局 指導部高校教育課長	
こばやし ゆうき 小林 祐樹	神奈川県公立中学校長会の代表	オブザーバー
もろおか けんいち 師岡 健一	神奈川県立高等学校長の代表	オブザーバー
かがみ ひろゆき 加賀美 博之	神奈川県私学保護者会連合会の代表	オブザーバー
ふじた けい 藤田 圭	神奈川県PTA協議会の代表	オブザーバー

神奈川県公立高等学校協議会 座席表

令和8年7月30日(木) 14:00～
私学会館 4階 講堂

※当日の状況により座席表に変更が生じる可能性があります。

令和8年度入学者選抜実績

(単位:人)

区 分			募集定員	募集人員	志願者数	受検者数	合格者数	合格者数計	入学者数
全 日 制	公 立	① 共通選抜	39,431	39,431	43,821	43,713	37,334	37,510 前年比	37,846 前年比
		② 二次募集		2,108	179	176	176	98.2%	98.2%
	私 立	③ 公募		15,050	53,450	52,929	48,215	前年比 99.1%	前年比 100.6% 15,998
		④ 併設			7,974	7,970	7,965	前年比 101.9%	前年比 101.9% 7,964
		⑤ 計		15,050	61,424	60,899	56,180	前年比 99.5%	前年比 101.1% 23,962
定 時 制	公 立	⑥ 共通選抜	2,382	1,157	821	807	798	1,172 前年比 83.7%	1,145 前年比 82.3%
		⑦ 計		980	308	300	299		
		⑧ 共通選抜 二次募集		2,137	1,129	1,107	1,097		
		⑨ 定通分割 選抜		359	37	37	36		
	私 立	⑩ 定通分割 選抜		926	75	40	39		
通 信 制	公 立	⑩ 共通選抜	1,520	1,216	542	531	529	601 前年比 101.2%	645 前年比 92.4%
		⑪ 定通分割選抜		991	89	72	72		
	私 立	⑫ 私立(公募)		990	918	917	914	前年比 98.3%	前年比 114.7% 625

※1 募集定員等は特別募集及び中途退学者募集を除いた数、志願者数は志願変更後の数である。

※2 定時制については、夜間以外の定時制（県立横浜明朋高校、県立川崎高校、県立厚木清南高校、県立相模向陽館高校、横浜市立横浜総合高校及び川崎市立川崎高校）はA、夜間の定時制15校はBとした。

※3 公立高校、私立高校の入学者数は、令和8年5月1日のものである。

※4 全日制公立高校の入学者数には、横浜市立南高等学校附属中学校、横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校附属中学校及び川崎市立川崎高等学校附属中学校からの入学者数を含む。

※5 通信制高校の入学者数には、転編入学者数を含む。

【参考 令和7年度入学者選抜結果】

(単位:人)

区 分			募集定員	募集人員	志願者数	受検者数	合格者数	合格者数計	入学者数
全 日 制	公 立	① 共通選抜	39,395	39,395	46,075	45,691	37,941	38,216 前年比	38,533 前年比
		② 二次募集		1,479	280	276	275	98.3%	98.3%
	私 立	③ 公募		15,136	53,420	52,897	48,645	前年比 100.1%	前年比 101.7% 15,896
		④ 併設			7,821	7,821	7,817	前年比 98.9%	前年比 98.9% 7,813
		⑤ 計		15,136	61,241	60,718	56,462	前年比 99.9%	前年比 100.8% 23,709
定 時 制	公 立	⑥ 共通選抜	2,828	1,183	927	917	891	1,401 前年比 102.3%	1,391 前年比 101.9%
		⑦ 計		1,316	391	388	388		
		⑧ 共通選抜 二次募集		2,499	1,318	1,305	1,279		
		⑨ 定通分割 選抜		293	50	48	48		
	私 立	⑩ 定通分割 選抜		1,258	159	75	74		
通 信 制	公 立	⑩ 共通選抜	1,520	1,216	528	518	516	594 前年比 92.5%	698 前年比 90.5%
		⑪ 定通分割選抜		1,004	105	78	78		
	私 立	⑫ 私立(公募)		990	930	930	930	前年比 96.9%	前年比 90.1% 545

※1 募集定員等は特別募集及び中途退学者募集を除いた数、志願者数は志願変更後の数である。

※2 定時制については、夜間以外の定時制（県立横浜明朋高校、県立川崎高校、県立厚木清南高校、県立相模向陽館高校、横浜市立横浜総合高校及び川崎市立川崎高校）はA、夜間の定時制21校はBとした。

※3 公立高校、私立高校の入学者数は、令和7年5月1日のものである。

※4 全日制公立高校の入学者数には、横浜市立南高等学校附属中学校、横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校附属中学校及び川崎市立川崎高等学校附属中学校からの入学者数を含む。

※5 通信制高校の入学者数には、転編入学者数を含む。

県内中学校卒業者の進学率

令和8年度

出身中学校等	進 学 先			全日制進学率	昼間の時間帯 で学ぶ進学率 (昼間進学率)
	学 校 の 区 分		進学者数		
県内公立 中卒者	全日制・ 高等専門学校	① 県内公立高校	37,803	58,340 ／66,387 =87.9%	69,088 ／75,698 =91.3%
		② 県内私立高校	14,942		
		③ 県外の高校等	5,595		
県内国私立 中卒者	④ 全日制・高等専門学校		8,329		
県内国公私立 中卒者	⑤ 定時制昼間 県内公立高校		686		
	通信制 平日登校型	⑥ 県内公立高校	383		
		⑦ 県内私立高校	595		
県内中等教育学校 (前期課程修了者)	⑧ 中等教育学校(後期課程)等		755		

※ 公立中学校卒業者数(義務教育学校卒業者を含む) 66,387人

※ 国公私立中学校卒業者数(義務教育学校卒業者を含む)及び中等教育学校前期課程修了者数

75,698人

令和7年度

出身中学校等	進 学 先			全日制進学率	昼間の時間帯 で学ぶ進学率 (昼間進学率)
	学 校 の 区 分		進学者数		
県内公立 中卒者	全日制・ 高等専門学校	① 県内公立高校	38,486	58,338 ／66,347 =87.9%	68,758 ／75,484 =91.1%
		② 県内私立高校	14,773		
		③ 県外の高校等	5,079		
県内国私立 中卒者	④ 全日制・高等専門学校		8,205		
県内国公私立 中卒者	⑤ 定時制昼間 県内公立高校		711		
	通信制 平日登校型	⑥ 県内公立高校	284		
		⑦ 県内私立高校	525		
県内中等教育学校 (前期課程修了者)	⑧ 中等教育学校(後期課程)等		695		

※ 公立中学校卒業者数(義務教育学校卒業者を含む) 66,347人

※ 国公私立中学校卒業者数(義務教育学校卒業者を含む)及び中等教育学校前期課程修了者数

75,484人

公立中学校卒業等者の進学率について

1 全日制進学率

卒業年 進学年	公立中学校 卒業生数	全日制高校・高等専門 学校進学者数、進学率
R8	66,387	58,340 87.9%
R7	66,347	58,338 87.9%
R6	67,056	59,151 88.2%
R5	68,002	60,696 89.3%
R4	67,124	60,111 89.6%
R3	65,159	58,818 90.3%
R2	67,115	60,757 90.5%
31	68,742	62,433 90.8%
30	69,140	62,849 90.9%
29	69,996	63,484 90.7%
28	70,397	64,014 90.9%

※ R8の数値は令和8年8月21日開催予定の教育委員会での報告をもって確定

2 昼間の時間帯で学ぶ進学率(昼間進学率)

卒業年 進学年	上にプラス 国立私立中学校卒業生数、 中等教育学校前期課程終了者 数	上にプラス 中等教育学校後期課程、 定時制昼間部、 通信制平日登校型進学者数、進学率
R8	75,698	69,088 91.3%
R7	75,484	68,758 91.1%
R6	76,276	69,754 91.4%
R5	77,089	70,856 91.9%
R4	76,365	70,514 92.3%
R3	74,296	68,921 92.8%
R2	76,186	70,781 92.9%
31	77,892	72,532 93.1%
30	78,433	73,293 93.4%
29	79,403	74,262 93.5%
28	79,969	74,850 93.6%
27	79,617	74,104 93.1%

※1 中等教育学校は平成10年の法改正により創設された制度で、本県では平成13年度から設置されている。

※2 定時制昼間部進学者とは、「県立横浜明朋高校」「県立相模向陽館高校」「市立横浜総合高校Ⅰ部・Ⅱ部」及び「市立川崎高校昼間部」へ進学した者である。相模向陽館高校は平成22年度、横浜総合高校は平成14年度から生徒を募集している。

※3 平日登校型通信制とは、私立通信制高校及び平成20年度に開校した横浜修悠館高校に入学した新規中卒者である。

$$\frac{\begin{array}{l} \text{全日制高等学校、高等専門学校} \\ \text{定時制高等学校（昼間部）} \\ \text{通信制高等学校（平日登校型）} \\ \text{中等教育学校後期課程 進学者} \end{array}}{\begin{array}{l} \text{県内国公私立中学校卒業者} \\ \text{中等教育学校前期課程修了者} \end{array}} = 91.3\%$$

3 高等学校等進学率

卒業年 進学年	国公私立中学校卒業生	高等学校等進学者 （高等学校(全・定・通) 中等教育学校後期課程 高等専門学校 特別支援学校高等部 (いずれも別科を含む)）	進学率
R8	74,937	74,245	99.1%
R7	74,784	74,081	99.1%
R6	75,526	74,876	99.1%
R5	76,353	75,723	99.2%
R4	75,679	75,019	99.1%
R3	73,705	73,158	99.3%
R2	75,565	74,830	99.0%
31	77,289	76,567	99.1%
30	77,792	77,091	99.1%
29	78,767	77,937	98.9%

※ 中等教育学校前期課程から後期課程に入った者は除く。

4 公立中学校卒業者の進路状況別進学率

進学 年度	公立 中卒 者数	全日制 進学率	公立		私立		県外等		定時制 (県内外)		通信制 (県内外)	
			進学 者数	率	進学 者数	率	進学 者数	率	進学 者数	率	進学 者数	率
H25	68,969	88.8%	42,155	61.1%	13,403	19.4%	5,662	8.2%	2,532	3.7%	2,845	4.1%
H26	70,571	89.2%	43,379	61.5%	13,479	19.1%	6,080	8.6%	2,627	3.7%	2,845	4.0%
H27	69,744	90.2%	43,079	61.8%	13,714	19.7%	6,093	8.7%	2,249	3.2%	2,522	3.6%
H28	70,397	90.9%	43,528	61.8%	14,521	20.6%	5,965	8.5%	2,062	2.9%	2,440	3.5%
H29	69,996	90.7%	43,487	62.1%	14,146	20.2%	5,851	8.4%	2,028	2.9%	2,546	3.6%
H30	69,140	90.9%	42,824	61.9%	14,435	20.9%	5,590	8.1%	1,780	2.6%	2,717	3.9%
H31	68,742	90.8%	42,347	61.6%	14,497	21.1%	5,589	8.1%	1,516	2.2%	3,034	4.4%
R2	67,115	90.5%	40,637	60.5%	14,519	21.6%	5,601	8.4%	1,407	2.1%	3,222	4.8%
R3	65,159	90.3%	39,160	60.1%	14,192	21.8%	5,466	8.4%	1,227	1.9%	3,540	5.4%
R4	67,124	89.6%	39,582	59.0%	15,070	22.5%	5,459	8.1%	1,255	1.9%	4,029	6.0%
R5	68,002	89.3%	39,973	58.8%	15,050	22.1%	5,673	8.3%	1,232	1.8%	4,316	6.3%
R6	67,056	88.2%	39,133	58.4%	14,571	21.7%	5,447	8.1%	1,314	2.0%	4,867	7.3%
R7	66,347	87.9%	38,486	58.0%	14,773	22.3%	5,079	7.7%	1,289	1.9%	4,917	7.4%
R8	66,387	87.9%	37,803	56.9%	14,942	22.5%	5,595	8.4%	1,117	1.7%	5,058	7.6%

※ R8の数値は令和8年8月21日開催予定の教育委員会での報告をもって確定

高校進学率全国比較表

資料3-4

「全国の国・公・私立中学校卒業者の進学率」

国公立中学校卒業者の
高等学校等進学者
高等学校(全・定・通)
中等教育学校後期課程(※公立中学校から)
高等専門学校
特別支援学校高等部
(いずれも別科を含む。)

国公立中学校卒業者の
全日制高等学校進学者

公立中学校卒業者の
全日制高等学校
高等専門学校 進学者
(公私間協議使用)

1 本県の進学率 (R8.3)

卒業年月	国公立 中卒者 ^a	高等学校 等進学者 ^b	進学率 b/a
R8.3	74,937	74,245	99.08%
R7.3	74,784	74,081	99.06%
R6.3	75,526	74,876	99.14%
R5.3	76,353	75,723	99.17%
R4.3	75,679	75,019	99.13%
R3.3	73,705	73,158	99.26%
R2.3	75,565	74,830	99.03%

卒業年月	国公立 中卒者 ^a	全日制 進学者 ^c	全日制 進学率 c/a
R8.3	74,937	66,514	88.76%
R7.3	74,784	66,393	88.78%
R6.3	75,526	67,237	89.02%
R5.3	76,353	68,668	89.93%
R4.3	75,679	68,337	90.30%
R3.3	73,705	67,084	91.02%
R2.3	75,565	68,898	91.18%

卒業年月	公立中 卒者 ^d	全日制 等進学者 ^e	全日制 進学率 e/d
R8.3	66,387	58,340	87.88%
R7.3	66,347	58,338	87.93%
R6.3	67,056	59,151	88.21%
R5.3	68,002	60,696	89.26%
R4.3	67,124	60,111	89.55%
R3.3	65,159	58,818	90.27%
R2.3	67,115	60,757	90.53%

2 全国比較 (R7.3)

都道府県	国公立 中卒者 ^a	高等学校 等進学者 ^b	進学率 b/a
計	1,055,218	1,040,636	98.62%
1 新潟県	17,186	17,114	99.58%
2 福井県	6,844	6,803	99.40%
3 石川県	9,667	9,596	99.27%
4 山形県	8,558	8,489	99.19%
5 長崎県	11,491	11,397	99.18%
6 富山県	8,443	8,373	99.17%
7 京都府	21,137	20,945	99.09%
8 神奈川県	74,517	73,819	99.06%
9 島根県	5,535	5,483	99.06%
10 岩手県	9,705	9,613	99.05%
11 青森県	9,276	9,188	99.05%
12 鹿児島県	14,941	14,790	98.99%
13 大分県	9,553	9,452	98.94%
14 栃木県	16,492	16,317	98.94%
15 埼玉県	61,836	61,178	98.94%
16 高知県	5,283	5,226	98.92%
17 滋賀県	13,572	13,424	98.91%
18 岐阜県	17,303	17,114	98.91%
19 三重県	15,578	15,405	98.89%
20 和歌山県	7,594	7,508	98.87%
21 宮城県	18,953	18,737	98.86%
22 千葉県	6,706	6,628	98.84%
23 山梨県	51,939	51,299	98.77%
24 熊本県	16,207	16,007	98.77%
25 愛媛県	11,040	10,901	98.74%
26 奈良県	11,301	11,157	98.73%
27 東京都	105,171	103,805	98.70%
28 広島県	24,867	24,536	98.67%
29 長野県	17,351	17,120	98.67%
30 茨城県	23,440	23,121	98.64%
31 香川県	8,365	8,250	98.63%
32 岡山県	16,347	16,115	98.58%
33 徳島県	5,572	5,491	98.55%
34 群馬県	16,321	16,073	98.48%
35 佐賀県	7,597	7,480	98.46%
36 兵庫県	46,519	45,794	98.44%
37 秋田県	6,944	6,827	98.32%
38 大阪府	72,130	70,907	98.30%
39 北海道	39,364	38,693	98.30%
40 静岡県	31,779	31,230	98.27%
41 愛知県	69,232	67,989	98.20%
42 福岡県	46,595	45,672	98.02%
43 山口県	11,001	10,781	98.00%
44 鳥取県	4,729	4,628	97.86%
45 福島県	14,586	14,231	97.57%
46 宮崎県	10,091	9,832	97.43%
47 沖縄県	16,560	16,098	97.21%

全国比較 (R7.3)

都道府県	国公立 中卒者 ^a	全日制 進学者 ^c	全日制 進学率 c/a
計	1,055,218	935,860	88.69%
1 山形県	8,558	7,893	92.23%
2 石川県	9,667	8,871	91.77%
3 岩手県	9,705	8,900	91.71%
4 愛媛県	11,040	10,100	91.49%
5 長崎県	11,491	10,511	91.47%
6 鹿児島県	14,941	13,636	91.27%
7 青森県	9,276	8,458	91.18%
8 佐賀県	7,597	6,914	91.01%
9 和歌山県	7,594	6,902	90.89%
10 奈良県	11,301	10,253	90.73%
11 大分県	9,553	8,665	90.70%
12 滋賀県	13,572	12,286	90.52%
13 宮城県	10,091	9,124	90.42%
14 京都府	21,137	19,103	90.38%
15 茨城県	23,440	21,151	90.23%
16 大阪府	72,130	65,084	90.23%
17 秋田県	6,944	6,258	90.12%
18 群馬県	16,321	14,708	90.12%
19 千葉県	51,939	46,681	89.88%
20 富山県	8,443	7,552	89.45%
21 熊本県	16,207	14,473	89.30%
22 福井県	6,844	6,108	89.25%
23 香川県	8,365	7,464	89.23%
24 岡山県	16,347	14,560	89.07%
25 山梨県	6,706	5,971	89.04%
26 東京都	105,171	93,477	88.88%
27 神奈川県	74,517	66,172	88.80%
28 徳島県	5,572	4,935	88.57%
29 長野県	17,351	15,355	88.50%
30 福岡県	46,595	41,209	88.44%
31 宮城県	18,953	16,731	88.28%
32 広島県	24,867	21,941	88.23%
33 高知県	5,283	4,659	88.19%
34 埼玉県	61,836	54,466	88.08%
35 沖縄県	16,560	14,533	87.76%
36 新潟県	17,186	15,069	87.68%
37 島根県	5,535	4,852	87.66%
38 栃木県	16,492	14,416	87.41%
39 山口県	11,001	9,602	87.28%
40 福島県	14,586	12,728	87.26%
41 鳥取県	4,729	4,126	87.25%
42 岐阜県	17,303	15,031	86.87%
43 静岡県	31,779	27,559	86.72%
44 兵庫県	46,519	40,322	86.68%
45 愛知県	69,232	59,861	86.46%
46 三重県	15,578	13,401	86.03%
47 北海道	39,364	33,789	85.84%

<参考>

・ 本県の過去の全国順位

卒業年月	進学率	全国順位	(全国平均)
H14.3	91.0%	40	92.7%
H15.3	91.9%	39	92.9%
H16.3	91.7%	40	93.0%
H17.3	91.0%	44	92.8%
H18.3	90.6%	46	92.7%
H19.3	90.3%	47	92.5%
H20.3	90.2%	46	92.4%
H21.3	89.7%	46	92.1%
H22.3	89.3%	47	91.9%
H23.3	89.2%	47	92.2%
H24.3	89.4%	47	92.3%
H25.3	89.8%	46	92.4%
H26.3	90.1%	46	92.4%
H27.3	91.0%	42	92.6%
H28.3	91.6%	39	92.7%
H29.3	91.4%	38	92.5%
H30.3	91.6%	37	92.4%
H31.3	91.4%	34	92.0%
R2.3	91.2%	33	91.7%
R3.3	91.0%	32	91.3%
R4.3	90.3%	31	90.5%
R5.3	89.9%	24	89.7%
R6.3	89.2%	24	88.6%
R7.3	89.6%	27	89.9%

全国比較に係る情報は、学校基本調査(文科省)の集計結果公表後に更新。

令和 9 年度の「高等学校生徒入学定員計画」の策定について（案）

（令和 8 年 9 月 日）

令和 9 年度の「高等学校生徒入学定員計画」の策定については、平成 17 年 9 月 13 日以降、毎年度開催（※）の公私立高等学校設置者会議で合意した「高等学校生徒入学定員計画の策定について」を踏まえ、引き続き公私協調の精神に基づき、以下のとおりとする。

なお、令和 9 年度入学者選抜にあたって、感染症の発生状況によっては、入学者選抜の実施にあたり必要な検討を行う。

※ これまでの開催日：平成 18 年 9 月 11 日、平成 19 年 9 月 11 日、平成 20 年 9 月 12 日、平成 21 年 9 月 11 日、平成 22 年 9 月 10 日、平成 23 年 9 月 7 日、平成 24 年 9 月 10 日、平成 25 年 9 月 9 日、平成 26 年 9 月 8 日、平成 27 年 9 月 7 日、平成 28 年 9 月 6 日、平成 29 年 9 月 7 日、平成 30 年 9 月 4 日、令和元年 9 月 4 日、令和 2 年 9 月 2 日、令和 3 年 9 月 7 日、令和 4 年 9 月 5 日、令和 5 年 9 月 6 日、令和 6 年 9 月 5 日及び令和 7 年 9 月 5 日

1 基本的な考え方

（1）視 点

ア 公私が協調することにより、

① 生徒の視点に立った定員計画を策定すること

- ・ 生徒の夢や希望の実現のために、幅広く主体的な学校選択が可能となるよう定員計画を策定していく。

② 全日制高校への進学実績を向上させるよう努めること

- ・ 経済的な課題、学力的な課題等を抱えた生徒や不登校生徒等の受け入れ対策を講じ、進学実績の向上を目指していく。
- ・ そのために必要な抜本的な対策を検討していく。

③ 生徒一人ひとりの希望と適性に応じた進路を確保することを目標とした定員計画とすること

- ・ 定時制や通信制も含め、生徒一人ひとりの希望と適性に応じた進路を確保することを目指す。

イ 生徒が幅広く高校を選択する条件の一つとして、公私間格差の是正を図る方向で検討

（2）考え方

- ・ 公私が協調しつつ、「（1）視点」記載の各事項を具体化することを目指すとして、総合的に対応する。

(3) その他

- ・ 全日制高校進学率の向上を図るため、更に公私で全体として進学率が向上するよう工夫する。そのための基本的な考え方として、「定員協議における公私の役割」を次のとおり確認する。
 - ・ 「公立」の役割： 生徒一人ひとりの希望と適性に応じて、多様な選択ができるよう、幅広い進路先としての役割を担い、県民ニーズに応える。
 - ・ 「私学」の役割： 建学の精神に基づく特色ある教育を展開し、学則で定められた収容定員を踏まえた安定的な学校運営に努め、県民ニーズに応える。
 - ・ なお、県は、私学の自主性を尊重しつつ、助成などにより私立学校教育のより一層の振興に努めるとともに、公教育を担う公私立高校が公私協調を図り、それぞれの役割を果たしながら共に向上できるよう、設置者間の協議の場を運営する。
- ・ 本合意事項の遂行に著しく困難な状況が生じた場合には、公私協調の精神に基づき、協議により解決を図る。

2 定員計画の策定

(1) 令和9年度の定員計画の方式

- ・ 平成22年度から3年間は、公立中学校卒業予定者の6割を全日制公立高校の入学定員としてきたが、平成25年度定員計画策定時に、それまでの公私立間の定員協議の経緯を勘案し、公私各々が自らの責任において実現を目指す定員目標を設定する方式に改め、平成26年から令和8年度も同様の方式により策定してきた。
- ・ 令和9年度の定員計画は、これまでの経緯を勘案し、かつ、これまでの定員計画により全日制進学率が概ね9割を維持してきた成果を踏まえ、引き続き、公私各々が自らの責任において実現を目指す定員目標を設定する方式により策定する。
- ・ なお、公私の募集計画については、この定員計画に見合ったものとし、10月までには公表する。

(2) 実現を目指す定員目標設定の考え方

- ・ 全日制進学率の向上を推進するため、公私各々が自らの責任として実現を目指す定員目標を明確にした上で、その実現に最大限の努力をするものとする。

- ・ 入学定員目標を設定するにあたり、これまでの実績や施設規模、教員規模等を勘案する。
- ・ 公立の目標設定にあたっては、公立中学校卒業予定者の動向に対応できるよう定員枠を確保し、全日制進学率の向上に寄与するものとする。
- ・ 私学の目標設定にあたっては、公立中学校卒業予定者の動向及び私学への進学希望の実現に対応できるよう定員枠を確保し、全日制進学率の向上に寄与するものとする。

(3) その他

- ・ 全日制高校への進学希望率を念頭に、全日制高校への進学実績の向上に一層努力する。
- ・ 全日制公立高校定員計画の策定にあたって、県・三市教育委員会は公私が協調して全日制の進学率を向上させることを念頭に私立高校の配置状況等を十分に考慮する。
- ・ 私立中高協会は広報・相談活動の強化等引き続き生徒確保対策に全力を傾けるものとする。
- ・ なお、公立中学校卒業予定者は、年による若干の増はあるものの、長期的な減少期に入っていることから、定員計画の策定にあたっては柔軟かつ安定的な枠組みを示すものとする。

3 今後の総合的な対応

「1 基本的な考え方 (1) 視点」記載の各事項を具体化することを目標として、これまでも総合的に対応してきたが、今後も引き続き推進する。

(1) 経済的な課題を抱えた生徒の受け入れ対策

- ・ 高等学校等就学支援金制度及び私立高等学校等生徒学費補助制度の一体的運用の充実に向けたより一層の努力
- ・ 神奈川県高等学校奨学金に係る所要予算額の継続的な確保
- ・ 就学支援金、学費補助金及び神奈川県高等学校奨学金による経済的負担の軽減措置の周知はこれまで様々な機会を捉え行い、一定の認知は得られているものの、引き続き、県、県・三市教育委員会、私立高校、私立中高協会による中学校生徒、保護者及び教員への学費支援制度のなお一層の周知徹底
- ・ 私学への進学促進を図るため、私立高校と私立中高協会の一体的取組みにより、奨学金等の受取り時期まで入学時納付金の支払いを延納する措置の拡充に努める。

(2) 不登校生徒等の受け入れ対策

- ・ 公立高等学校における不登校生徒等の受け入れ対策の一層の推進
- ・ 私立高等学校における不登校生徒等の受け入れ対策の一層の推進

(3) クリエイティブスクール

県教育委員会は定時制入学者の中に全日制高校を希望していた生徒が多数含まれていることに加えて、私立高校併願者がごく少数であることから、これらの生徒を全日制公立高校で受け入れていく仕組みを工夫してきた。

その方策の一つが、「学習意欲を高める全日制課程の新たな学校のしくみづくり」（クリエイティブスクール）である。クリエイティブスクールにおいては選考基準が重要なポイントである。従って、平成21年度に本格的に導入したクリエイティブスクールについては、志願者及び入学者の動向や実態を踏まえ、設置の目的に沿った学校となっているかを検証し引き続き公私で協議する。

(4) 定時制等の受け入れ対策

定時制高校の学校規模の適正化、特に経済的な理由により全日制高校への進学がかなわず定時制に進学せざるを得ない生徒への対応を引き続き図る。

(5) その他の対策

- ・ 私立高等学校における更なる特色・魅力づくりの推進
- ・ 県・三市教育委員会、私立中高協会による県内高校への更なる進学促進
- ・ 高等学校等就学支援金制度、私立高等学校等生徒学費補助制度、神奈川県高等学校奨学金制度の運用見直し及びクリエイティブスクールの設置目的については、公立中学校における実際の進路指導等に活用できるよう特に周知徹底
- ・ その他、「1（1）視点」記載の各事項を具体化する対策の検討

4 「昼間の時間帯で学ぶ進学率（昼間進学率）」の活用

公私間の定員協議において、これまで「公立中学校卒業生に対する全日制高校及び高等専門学校への進学実績」を表す「全日制進学率」の向上に向けて、様々な取り組みを実施してきたところであり、今後もそれは「基本的な考え方」の一つとして変わらない。しかし、昨今の中学生の進路選択の多様化等を踏まえ、「昼間の時間帯で学ぶ進学率（昼間進学率）」という指標を「全日制進学率」と併せて活用する。

5 令和9年度公私立高等学校生徒全日制入学定員の目標設定の考え方及び計画

- ・ 全日制進学率の向上を推進するため、公私各々が自らの責任として実現を目指す定員目標を明確にした上で、その実現に最大限の努力をするものとする。
- ・ 入学定員目標を設定するにあたり、これまでの実績や施設規模、教員規模等を勘案する。
- ・ 上記を踏まえ、公立の目標設定にあたっては、公立中学校卒業予定者の動向に対応できるよう定員枠を確保することとし、県内公立中学校卒業予定者のうち 〇人程度を入学定員の目標とする。
- ・ 上記を踏まえ、私学の目標設定にあたっては、公立中学校卒業予定者の動向及び私学への進学希望の実現に対応できるよう定員枠を確保することとし、県内公立中学校卒業予定者のうち 〇人程度を入学定員の目標とする。
- ・ なお、この定員目標に見合った募集人員を、公私ともに10月までには公表するものとする。

(参考：公立中学校卒業予定者 64,781人)

総合的な対応のこれまでの実績

1
経済的な課題を抱えた生徒の受入れ

○私立高等学校の生徒に対する学費支援の実績等

単位：千円

年度	①学費補助金	②就学支援金	合計(①+②)	
R3	3,018,372	9,169,227	12,187,599	(実績)
R4	3,285,183	9,196,532	12,481,715	(実績)
R5	3,229,917	9,057,743	12,287,660	(実績)
R6	3,702,607	8,900,362	12,602,969	(実績)
R7	4,721,621	8,608,800	13,330,421	(実績)
R8	2,238,034	33,865,449	36,103,483	(当初予算)

(内 訳)

○私立高等学校生徒学費補助金

・令和3年度当初予算においては、令和2年度から基準や補助単価の変更なし

・令和4年度当初予算において所得区分Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴの補助単価を増額。さらに多子世帯向けの支援内容を新設。

・令和5年度当初予算においては、令和4年度から基準や補助単価の変更なし

・令和6年度当初予算において所得区分Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴの補助単価を増額。さらに多子世帯向けの支援内容を拡充。

・令和7年度当初予算においては、所得区分Ⅳ・Ⅴの基準変更、所得区分Ⅳ・Ⅴの補助単価増額

・令和8年度当初予算においては、授業料補助の所得制限を撤廃（国籍等要件あり）し、補助単価を増額

＜学費補助の対象生徒数・予算額等＞

年度	生徒数[人]	予算額等[千円]	
R3	19,662	3,018,372	(実績)
R4	20,116	3,285,183	(実績)
R5	20,044	3,229,917	(実績)
R6	21,225	3,702,607	(実績)
R7	22,907	4,721,621	(実績)
R8	47,058	2,238,034	(当初予算)

○高等学校等就学支援金事業費

・平成22年度より新たに創設、平成26年度から、制度改正により所得制限ができた。

・令和8年度から制度改正により所得制限が撤廃された。

＜就学支援金の対象生徒数・予算額等＞

【私学】

年度	生徒数[人]	予算額等[千円]	
R3	38,521	9,169,227	(実績)
R4	39,920	9,196,532	(実績)
R5	39,754	9,057,743	(実績)
R6	39,457	8,900,362	(実績)
R7	39,557	8,608,800	(実績)
R8	76,736	33,865,449	(当初予算)

【公立】

年度	生徒数[人]	予算額等[千円]	
R3	98,706	10,691,812	(実績)
R4	95,462	10,301,061	(実績)
R5	91,765	9,984,956	(実績)
R6	89,867	9,691,682	(実績)
R7	88,341	9,405,286	(実績)
R8	128,388	14,264,315	(当初予算)

○神奈川県高等学校奨学金

・学業等に意欲があり、学資の援助を必要とする高校生等に対して奨学金を貸し付けた。
(平成27年12月に条例改正を行い、平成28年度から現行制度。)

＜奨学金採用(定期・予約)者数及び奨学金貸付総額＞

年度	私学 [人]	国公立[人]	総額 [千円]	
R3	1,267	351	562,820	(実績)
R4	1,333	312	730,030	(実績)
R5	1,381	373	784,240	(実績)
R6	1,454	370	818,680	(実績)
R7	1,484	375	861,930	(実績)
R8	(私学・国公立全体)		1,000,000	(当初予算)

○神奈川県高校生等奨学給付金（平成26年4月以降の入学者が対象）

- ・高校生等がいる、生活保護（生業扶助）受給世帯又は都道府県民税・市町村民税所得割非課税世帯（家計急変により非課税相当となった世帯を含む）に対して、授業料以外の教育費負担を軽減するため、奨学給付金の給付を行った。
- ・令和8年度当初予算においては従来の対象世帯に加えて、都道府県民税・市町村民税所得割額の合計額が182,500円未満の世帯まで拡充した。

【私学】

年度	人数 [人]	総額 [千円]	
R3	4,936	562,662	(実績)
R4	4,884	574,441	(実績)
R5	4,895	578,144	(実績)
R6	4,891	625,743	(実績)
R7	4,424	556,793	(実績)
R8	17,552	1,152,941	(当初予算)

【国公立】

年度	人数 [人]	総額 [千円]	
R3	11,818	1,226,843	(実績)
R4	11,271	1,199,948	(実績)
R5	10,653	1,165,608	(実績)
R6	11,899	1,377,277	(実績)
R7	9,246	1,140,860	(実績)
R8	32,519	2,230,000	(当初予算)

○県立高校における入学検定料等減免制度（実績）

年度	人数 [人]	入学検定料免除[千円]	人数 [人]	入学科免除[千円]
R6	954	1,903	972	4,946
R7	883	1,742	949	4,776

○県、県・三市教育委員会、私立中高協会による中学生生徒、保護者、教員への制度の周知徹底

- ・進路指導中・高連絡協議会、神奈川の高校展（全公立展、全私学展、公私合同説明・相談会）等で学費補助等支援制度を周知徹底（令和2年度は新型コロナウイルス感染症による影響でイベント中止）
- ・公立中学生全員及び教員に中学校を通じてチラシを配付

○私立高校の入学時納付金の支払い延納措置の導入

- ・私立高校と私立中高協会の一体的取り組みにより、入学時納付金の支払いを延納することにより、経済的な課題を抱えた生徒の私学への進学促進を図った。

○公立高等学校における不登校生徒等の受け入れ対策

- ・平成20年度入選から、長期の欠席を理由とする選抜方法申請書に係る運用を見直し（2・3年次の評点を活用しない場合のほか、いずれかの学年のみを活用しないことも選択できるよう変更）
- ・平成24年度入選から、第2学年、第3学年のいずれかの学年、または両方の学年において、欠席日数等が出席しなければならない日数の1/2以上から1/3以上に緩和した。
- ・公立全日制高校への志願・合格状況

入選年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8
志願者数 [人]	543	485	548	636	663	651
合格者数 [人]	423	382	447	503	535	569

○私立高等学校における不登校生徒等の受け入れ対策

- ・不登校生徒の受入体制を整備する私立高校への補助を平成19年度に創設(4,000千円/1校)
- ・補助実績は24年度から27年度は1校、28年度から30年度は2校、令和元年度は3校、2年度から3年度は2校、4年度は3校

（参考）県内公立中学校不登校生徒（中学3年生）全日制高校への進路状況

年度	H24	H25	H26	H27	単位：人
県内公立中学校不登校生徒(中学3年生)	2,757	2,815	2,821	2,447	
公立高校へ進学	266	331	376	324	
私立高校へ進学	320	313	369	313	

注：27年度中卒者が対象の28年度入選及び公募実施校は、県内公立高校153校、県内私立51校。

ただし、上記の数字は他都県高校への進学者を含む。

※県内公立中学校不登校生徒の全日制高校への進路状況について、これまで文部科学省実施の「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」のに基づき、神奈川県教育委員会が付随して調査してきたが、平成28年度の調査から文部科学省の調査方法が変更になったため、進路状況については把握できなくなった。

3

クリエイティブ

○一人ひとりが持っている力を必ずしも十分に発揮できなかった生徒に対して、これまで以上に学習への意欲を高め、基礎学力や社会性を身につけて有意義な高校生活を送れるよう、1クラス30人以下での展開や授業時間の工夫を行うといった「新たな仕組み」としてクリエイティブスクールを導入

- ・20年度から一部前倒し（少人数学習など）実施
- ・21年度から本格的導入（田奈・大楠・釜利谷の3校で、学力検査を実施しない・調査書の評点によらない入学者選抜方法を21年度入選から実施）
- ・県立高校改革により、29年度から新たに2校（大井・大和東）を指定

4

定時制等の受入

○県立定時制高等学校専門学科の総合学科への改編

- ・平成19年度、3校（向の岡工業・平塚商業・磯子工業）を総合学科に改編

○県立独立型通信制高等学校の設置

- ・平成20年4月開校（横浜修悠館高校平成19年11月設置）

○県立多部制定時制高等学校の設置

- ・平成22年4月開校（相模向陽館高校）
- ・平成26年4月開校（横浜明朋高校）

○県立定時制高等学校全日制専門学科の単位制専門学科への改編

- ・令和8年度、神奈川工業高校を単位制専門学科への改編

○県立定時制高等学校総合学科の単位制普通科への改編

- ・令和8年度、神奈川総合産業高校を単位制普通科への改編

○県立定時制高等学校の募集停止

- ・令和8年度、6校（横浜翠嵐、向の岡工業、磯子工業、茅ヶ崎、秦野総合、伊勢原）

5

その他の対策

○私立高等学校における更なる特色・魅力づくり

- ・平成19年度から、体育活動、文化活動やグローバル教育を推進することにより特色・魅力づくりを行う私立高校に対して補助

○県市教育委員会、私立中高協会による県内高校への進学促進

- ・神奈川の高校展（全公立展、全私学展、公私合同説明・相談会）等で神奈川県内の公私立高校の魅力を中学生にアピール（令和2年度は新型コロナウイルス感染症による影響でイベント中止、令和3年度は私学展についてはWeb開催、令和4年度以降は私学展は開催。）

※他都県国公私立高校等への進学者

単位：人

入選年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8
進学者数	5,466	5,459	5,673	5,447	5,079	5,595

中 学 校 卒 業 者 の 動 向

資料 4 - 2

(平成4年～平成13年)

卒業年月	4年3月 (1992)	5年3月 (1993)	6年3月 (1994)	7年3月 (1995)	8年3月 (1996)	9年3月 (1997)	10年3月 (1998)	11年3月 (1999)	12年3月 (2000)	13年3月 (2001)
公立中学校 卒業生	99,155	95,804	90,601	86,290	80,561	78,588	78,201	77,424	74,865	71,792
対前年増減	△ 6,118	△ 3,351	△ 5,203	△ 4,311	△ 5,729	△ 1,973	△ 387	△ 777	△ 2,559	△ 3,073

(注) 公立中学校卒業生数は、平成3年3月から令和7年3月までは実績。

(平成14年～平成23年)

卒業年月	14年3月 (2002)	15年3月 (2003)	16年3月 (2004)	17年3月 (2005)	18年3月 (2006)	19年3月 (2007)	20年3月 (2008)	21年3月 (2009)	22年3月 (2010)	23年3月 (2011)
公立中学校 卒業生	69,106	68,850	67,958	64,080	63,680	64,933	64,507	65,422	68,711	66,521
対前年増減	△ 2,686	△ 256	△ 892	△ 3,878	△ 400	1,253	△ 426	915	3,289	△ 2,190

(平成24年～令和3年)

卒業年月	24年3月 (2012)	25年3月 (2013)	26年3月 (2014)	27年3月 (2015)	28年3月 (2016)	29年3月 (2017)	30年3月 (2018)	31年3月 (2019)	2年3月 (2020)	3年3月 (2021)
公立中学校 卒業生	67,856	68,969	70,571	69,744	70,397	69,996	69,140	68,742	67,115	65,159
対前年増減	1,335	1,113	1,602	△ 827	653	△ 401	△ 856	△ 398	△ 1,627	△ 1,956

(令和4年～令和13年)

卒業年月	4年3月 (2022)	5年3月 (2023)	6年3月 (2024)	7年3月 (2025)	8年3月 (2026)	9年3月 (2027)	10年3月 (2028)	11年3月 (2029)	12年3月 (2030)	13年3月 (2031)
公立中学校 卒業生	67,124	68,002	67,056	66,347	66,387	64,781	64,615	63,229	63,493	62,827
対前年増減	1,965	878	△ 946	△ 709	40	△ 1,606	△ 166	△ 1,386	264	△ 666

(注) 令和9年3月以降は推計値。

(令和14年～令和23年)

卒業年月	14年3月 (2032)	15年3月 (2033)	16年3月 (2034)	17年3月 (2035)	18年3月 (2036)	19年3月 (2037)	20年3月 (2038)	21年3月 (2039)	22年3月 (2040)	23年3月 (2041)
公立中学校 卒業生	59,961	58,263	55,396	53,090	50,632	50,526	47,708	45,684	43,722	43,454
対前年増減	△ 2,866	△ 1,698	△ 2,867	△ 2,306	△ 2,458	△ 106	△ 2,818	△ 2,024	△ 1,962	△ 268

地域別公立中学校卒業予定者数

卒業年月	8.3	9.3	10.3	11.3	12.3	13.3	14.3	15.3	16.3	17.3
R8.5.1在籍学年	(卒業者実績)	中3	中2	中1	小6	小5	小4	小3	小2	小1
県 計	66,387	64,781	64,615	63,229	63,493	62,827	59,961	58,263	55,396	53,090
対前年比	40	△ 1,606	△ 166	△ 1,386	264	△ 666	△ 2,866	△ 1,698	△ 2,867	△ 2,306
横浜 東 部	5,643	5,675	5,724	5,545	5,946	5,864	5,483	5,170	5,017	4,664
	174	32	49	△ 179	401	△ 82	△ 381	△ 313	△ 153	△ 353
横浜 北 部	5,353	5,072	5,115	4,989	4,924	4,833	4,482	4,328	4,170	3,915
	△ 123	△ 281	43	△ 126	△ 65	△ 91	△ 351	△ 154	△ 158	△ 255
横浜 西 部	3,730	3,537	3,590	3,376	3,504	3,437	3,116	3,220	3,125	2,980
	△ 63	△ 193	53	△ 214	128	△ 67	△ 321	104	△ 95	△ 145
横浜 中 部	4,348	4,135	4,228	4,131	3,977	3,977	3,984	3,816	3,554	3,510
	142	△ 213	93	△ 97	△ 154	0	7	△ 168	△ 262	△ 44
横浜 南 部	3,530	3,379	3,384	3,420	3,326	3,216	3,143	3,114	2,989	2,959
	△ 32	△ 151	5	36	△ 94	△ 110	△ 73	△ 29	△ 125	△ 30
横浜 臨海	3,219	3,267	3,201	3,096	3,125	3,047	2,921	2,726	2,648	2,391
	△ 89	48	△ 66	△ 105	29	△ 78	△ 126	△ 195	△ 78	△ 257
川崎 南 部	4,202	4,185	4,262	4,197	4,268	4,269	4,156	4,075	3,699	3,525
	△ 1	△ 17	77	△ 65	71	1	△ 113	△ 81	△ 376	△ 174
川崎 北 部	5,849	5,842	5,878	5,709	5,860	5,777	5,549	5,287	5,083	4,810
	50	△ 7	36	△ 169	151	△ 83	△ 228	△ 262	△ 204	△ 273
横須賀三浦	3,804	3,631	3,554	3,456	3,471	3,316	3,155	3,034	2,782	2,688
	72	△ 173	△ 77	△ 98	15	△ 155	△ 161	△ 121	△ 252	△ 94
鎌倉 藤 沢	4,672	4,679	4,669	4,603	4,574	4,592	4,551	4,347	4,154	4,042
	△ 106	7	△ 10	△ 66	△ 29	18	△ 41	△ 204	△ 193	△ 112
茅ヶ崎	2,480	2,429	2,432	2,376	2,366	2,469	2,320	2,258	2,128	2,151
	54	△ 51	3	△ 56	△ 10	103	△ 149	△ 62	△ 130	23
平 塚	2,513	2,488	2,371	2,323	2,364	2,389	2,295	2,268	2,150	2,040
	△ 26	△ 25	△ 117	△ 48	41	25	△ 94	△ 27	△ 118	△ 110
秦野伊勢原	2,050	2,026	2,041	1,958	1,892	1,874	1,737	1,674	1,608	1,519
	△ 9	△ 24	15	△ 83	△ 66	△ 18	△ 137	△ 63	△ 66	△ 89
県 西	2,444	2,437	2,318	2,204	2,232	2,122	2,071	1,977	1,920	1,899
	10	△ 7	△ 119	△ 114	28	△ 110	△ 51	△ 94	△ 57	△ 21
厚木海老名愛甲	3,349	3,225	3,099	3,112	3,021	3,087	2,916	2,843	2,789	2,627
	15	△ 124	△ 126	13	△ 91	66	△ 171	△ 73	△ 54	△ 162
大和座間綾瀬	3,776	3,583	3,513	3,592	3,505	3,597	3,370	3,450	3,202	3,162
	132	△ 193	△ 70	79	△ 87	92	△ 227	80	△ 248	△ 40
相 模 原	5,425	5,191	5,236	5,142	5,138	4,961	4,712	4,676	4,378	4,208
	△ 160	△ 234	45	△ 94	△ 4	△ 177	△ 249	△ 36	△ 298	△ 170

私立高等学校における学費補助の状況

○ 公募校（全日制）における学費補助（入学金）の状況

令和 7 年度	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度
5, 8 9 5 人 県内在住 1 年生数 1 7, 7 0 4 人 (33.3%)	6, 4 0 1 人 県内在住 1 年生数 1 7, 5 9 6 人 (36.4%)	6, 7 1 6 人 県内在住 1 年生数 1 7, 6 9 8 人 (37.9%)	7, 2 3 8 人 県内在住 1 年生数 1 8, 0 5 2 人 (40.1%)

＊ 公募を行った全日制私立高校における入学金補助者数

- ・ 令和 7 年度は、全日制私立高校 78 校のうち 57 校が公募を実施
- ・ 原則として年 1 回の 6 月申請としており、その後は随時申請

○ 私立高等学校・中等教育学校後期課程の年間学費補助（授業料）状況

令和 7 年度	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度
2 2, 9 0 7 人 県内在住生徒総数 6 4, 1 4 1 人 (35.7%)	2 1, 2 2 5 人 県内在住生徒総数 6 4, 7 1 3 人 (32.8%)	2 0, 0 4 4 人 県内在住生徒総数 6 4, 0 7 9 人 (31.3%)	2 0, 1 1 6 人 県内在住生徒総数 6 3, 7 8 1 人 (31.5%)

＊ 非公募校や通信制を含む私立高校・中等教育学校後期課程における授業料補助実績

○ 令和 8 年度入学者選抜へ向けた中学 3 年生への学費補助制度周知状況

	広報時期 (R7. 7 月～R8. 2 月)	会議名他	配布部数
1	7 月 リーフレット	私立高等学校公募校・専修学校高等課程 (中学 3 年生説明会用)	27, 950 部
		公立中学校 (3 年生・教員・進路指導用) (中学校を通じて配布)	74, 960 部
2	7 月 リーフレット	神奈川私学（高校）展 ※教育講演会でも周知	21, 000 部
3	11 月 リーフレット	神奈川県公立高等学校入学者選抜に関する公立中学校等進路指導担当教諭説明会	1, 450 部
4	2 月 チラシ	公立中学 3 年生全員 (中学校を通じて配布)	75, 250 部

神奈川県高等学校奨学金の状況

1 定期貸付採用者数（予約＋定期）

		2 年度		3 年度		4 年度		5 年度		6 年度		7 年度	
		人数	前年 対比	人数	前年 対比	人数	前年 対比	人数	前年 対比	人数	前年 対比	人数	前年 対比
国公立		517	102. 8%	351	67. 9%	312	88. 9%	373	119. 6%	370	99. 2%	375	101. 4%
私学	県内	852	97. 5%	773	90. 7%	808	104. 5%	840	104. 0%	879	104. 6%	889	101. 1%
	県外	534	92. 9%	494	92. 5%	525	106. 3%	541	103. 0%	575	106. 3%	595	103. 5%
	小計	1, 386	95. 7%	1, 267	91. 4%	1, 333	105. 2%	1, 381	103. 6%	1, 454	105. 3%	1, 484	102. 1%
計		1, 903	97. 5%	1, 618	85. 0%	1, 645	101. 7%	1, 754	106. 6%	1, 824	104. 0%	1, 859	101. 9%

2 予算の推移

（単位：千円）

	予 算			
	当初	補正	流用	合計
24年度	2,112,072			2,112,072
25年度	2,112,072			2,112,072
26年度	2,112,072	△ 162,072		1,950,000
27年度	1,950,000	△ 323,213	△ 27,795	1,598,992
28年度	1,600,000	△ 400,000		1,200,000
29年度	1,400,000	△ 380,000	△ 11,500	1,008,500
30年度	1,400,000	△ 487,110	△ 31,334	881,556
元年度	1,100,000	△ 291,680		808,320
2 年度	1,000,000	△ 208,480		791,520
3 年度	1,000,000	△ 285,880		714,120
4 年度	1,000,000	△ 143,800		856,200
5 年度	1,000,000	△ 126,406		873,594
6 年度	902,000	△ 41,840		860,160
7 年度	1,000,000	△ 85,720		914,280

※ 平成21年度から平成27年度まで国の高等学校授業料減免事業等支援臨時特例交付金を原資にして、成績要件の緩和と募集人員の拡大を臨時的に行っていた（特例交付金は平成26年度まで）。

※ 平成27年度に高等学校奨学金の条例改正を行い、「育英」から「就学支援」への転換を図るなどの制度の大幅な見直しを行った（募集は平成28年度から）。

私立高等学校における更なる特色・魅力づくりへの県の支援

「体育活動・文化活動の推進」に対する支援（平成 19 年度～）

1 趣 旨

体育活動や文化活動を推進することにより特色・魅力づくりを行う私立高等学校を支援する。

2 予算額

令和 8 年度 46,260 千円（令和 7 年度 36,900 千円）

3 補助要件

次の（1）又は（2）のいずれかを満たす高等学校に対し、補助する。

（1）全国高等学校体育連盟若しくは日本高等学校野球連盟又は全国高等学校文化連盟に加入している学校の生徒が部活動（体育・文化活動）で優秀な成績を収めた。

（2）学校において部活動が活発に行われていると認められる。

4 令和 7 年度の補助実績

補助実績額	体育活動の推進	27,780 千円
	文化活動の推進	21,060 千円
	計	48,840 千円（補助対象 68 校）

（内訳）

1 体育活動の推進に対する補助

（1）団体を対象としたもの

① 全国高等学校体育連盟関係	9 校（19 団体）	5,700 千円
② 日本高等学校野球連盟関係	1 校（1 団体）	300 千円
③ 部活動加入状況	0 校	0 千円
④ 他の模範となる部活動	65 校	19,500 千円

（2）個人を対象としたもの

① 全国高等学校体育連盟関係	12 校（76 人）	2,280 千円
----------------	------------	----------

2 文化活動の推進に対する補助

（1）団体を対象としたもの

① 全国高等学校総合文化祭関係	5 校（6 団体）	1,800 千円
② その他全国大会関係	7 校（7 団体）	2,100 千円
③ 部活動加入状況	0 校	0 千円
④ 他の模範となる部活動	57 校	17,100 千円

（2）個人を対象としたもの

① 全国高等学校総合文化祭関係	0 校（0 人）	0 千円
② その他全国大会関係	2 校（2 人）	60 千円

不登校生徒の現状

県内公立中学校の不登校生徒数

※不登校…年間30日以上欠席した児童生徒のうち、病気や経済的理由を除いたもの
(人)

学年	1年生	2年生	3年生	合計
令和6年度	3,785	4,884	5,389	14,058
令和5年度	3,765	4,889	5,385	14,039
令和4年度	3,386	4,404	4,546	12,336
令和3年度	2,765	3,623	4,001	10,389
令和2年度	2,304	3,363	3,474	9,141
令和元年度	2,524	3,294	3,752	9,570
平成30年度	2,241	3,252	3,362	8,855
平成29年度	2,200	3,053	3,235	8,488
平成28年度	1,943	2,748	2,961	7,652
平成27年度	1,758	2,412	2,246	6,416
平成26年度	1,698	2,401	2,821	6,920
平成25年度	1,590	2,414	2,815	6,819
平成24年度	1,500	2,389	2,757	6,646
平成23年度	1,630	2,526	2,976	7,132
平成22年度	1,775	2,657	3,124	7,556
平成20年度	1,799	2,933	3,260	7,992
平成19年度	1,930	2,813	3,206	7,949

※ 上記数値は、神奈川県児童・生徒の問題行動等調査の結果より転記

※ 令和7年度の数値は、令和8年10月公表

長期の欠席を理由とする選抜方法申請書を提出した 受検者の状況について

1 申請内容

平成 20 年度の入学者選抜から、調査書の取扱いについて、「長期の欠席を理由とする選抜方法申請書」を提出することにより、

① 2 年次又は 3 年次のいずれかの調査書の学習の記録を参考としない

② 2 年次及び 3 年次における調査書の学習の記録を参考としない

のいずれかを選択できるように改善した。

また、平成 24 年度入学者選抜からは、第 2 学年、第 3 学年のいずれかの学年、または両方の学年において、対象欠席日数を出席しなければならない日数の 1 / 2 以上から 1 / 3 以上に緩和した。

2 申請者の状況

課 程	年 度 等	志願者数	受検者数	合格者数
全 日 制	令和 8 年度	6 5 1	6 3 9	5 6 9
	令和 7 年度	6 6 3	6 5 2	5 3 5
	令和 6 年度	6 3 6	6 2 2	5 0 3
	令和 5 年度	5 4 8	5 4 6	4 4 7
	令和 4 年度	4 8 5	4 7 0	3 8 2
	令和 3 年度	5 4 3	5 2 0	4 2 3
定 時 制	令和 8 年度	1 9 4	1 8 9	1 8 9
	令和 7 年度	2 6 1	2 5 9	2 4 7
	令和 6 年度	2 5 2	2 4 9	2 4 1
	令和 5 年度	2 6 9	2 6 7	2 4 9
	令和 4 年度	2 3 8	2 3 4	2 2 3
	令和 3 年度	2 5 2	2 4 8	2 4 4

※ 全日制は共通選抜、定時制は共通選抜・定通分割選抜の延べ数。

私立高等学校における不登校生徒の受入れ体制整備に対する支援について（平成 19 年度～）

1 趣 旨

不登校生徒の進路確保のため、不登校生徒の受入れ体制を整備する私立高等学校に対し助成する。

2 予算額

令和 8 年度 12,000 千円（令和 7 年度 12,000 千円）

3 補助要件

次の（１）又は（２）のいずれかを満たす全日制高等学校（構造改革特別区域制度による学校を除く。）に対し、補助する。

（１）ア及びイの条件を満たしていること。

ア 高校 1 年生を対象とした不登校対策クラスを設置するなど、積極的に不登校生徒を受け入れる体制を整えている。

イ 「不登校対策」に従事している「教職員」がいて、かつ一般補助において、標準法により補助できなかった「教職員」がいる。

（２）ア及びイの条件を満たしていること。

ア 5 月 1 日現在在籍する高校 1 年生のうち、中学 3 年時に年間 30 日以上欠席した者（以下「不登校生徒」という。）が実員生徒数の 5 %以上いる。

イ 常勤の生徒指導担当教諭、又は常勤の養護教諭、養護助教諭若しくは養護職員を加配している。

4 令和 7 年度の補助実績

（１）補助対象校数 4 校

（２）補助額 @ 4,000 千円×4 校＝16,000 千円

（３）該当補助要件 上記 3（１）に該当 3 校、（２）に該当 1 校

令和８年度クリエイティブスクール入学者対象アンケート 調査結果

1	アンケートの概要・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2	クリエイティブスクールの入学者選抜の状況　・・・・・・・・	2
3	集計結果　・・・・・・・・・・・・・・・・	4

(資料) 令和８年度　クリエイティブスクール入学者対象アンケート用紙

令和８年７月

神奈川県教育委員会
高校教育課作成

1 アンケートの概要

(1) 目的

県立のクリエイティブスクールに入学した生徒を対象に、志願状況（私学との併願等）や志願理由等について把握することを目的に実施した。

(2) 対象

クリエイティブスクール令和8年度入学者

- ・ 釜利谷高等学校
- ・ 青葉総合高等学校（総合学科）
- ・ 横須賀南高等学校
- ・ 小田原北高等学校
- ・ 大和東高等学校

(3) 令和8年度入学者数及び回答者数

釜利谷高校		青葉総合高校		横須賀南高校		小田原北高校		大和東高校	
入学者数	回答者数	入学者数	回答者数	入学者数	回答者数	入学者数	回答者数	入学者数	回答者数
114人	91人	139人	128人	115人	104人	73人	65人	224人	152人

入学者数		回答者数		回答率	
普通科4校計	総合学科1校	普通科4校計	総合学科1校	普通科4校	総合学科1校
526人	139人	412人	128人	78.3%	92.1%
(令和7年度 726人)		(令和7年度 634人)		(令和7年度 87.3%)	

※複数回答した生徒がいるため、各項目の回答数と回答者数は一致しない。

(4) 調査内容

（資料）令和8年度 クリエイティブスクール入学者対象アンケート用紙のとおり

(5) 実施時期

4月中旬～5月下旬

(6) 集計

高校教育課高校教育企画グループ

2 クリエイティブスクールの入学者選抜の状況

令和8年度入学者選抜（共通選抜）「普通科 クリエイティブスクール」の募集定員は672人に対し、受検者数は520人、入学者選抜の結果520人が合格した。「総合学科 クリエイティブスクール」の募集定員は158人に対し、受検者数は138人、入学者選抜の結果138人が合格した。平均競争率は「普通科 クリエイティブスクール」、「総合学科 クリエイティブスクール」とともに1.00倍であった。共通選抜二次募集では、「普通科 クリエイティブスクール」募集人員152人に対し、受検者数は6名、入学者選抜の結果6名が合格した。「総合学科 クリエイティブスクール」募集人員20人に対し、受検者数は1名、入学者選抜の結果1名が合格した。

なお、志願変更後の競争率等は以下の図及び表のとおり。

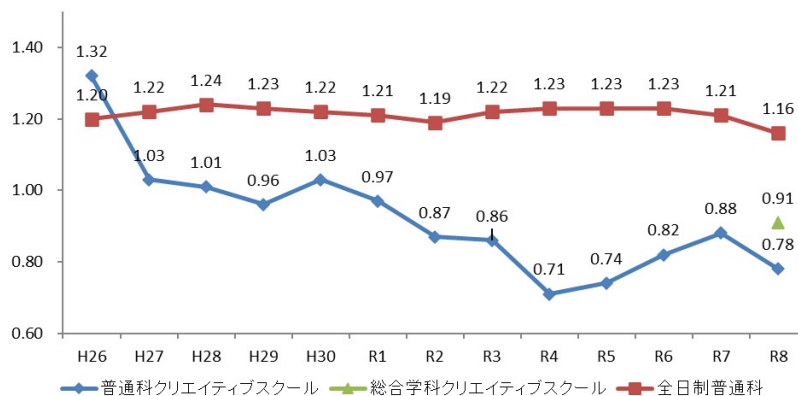


図 全日制全体とクリエイティブスクールの平均競争率（志願変更後時点）

表 令和5年度から8年度までの入学者選抜の志願者数（志願変更後時点）

入学年度	学 校 名	募集定員 (A)	志願者数 志願変更前 (B)	志願者数 志願変更後 (C)	(C - B)	競争率 (C / A)
R8	釜利谷	238	112	113	1	0.47
	横須賀南	118	118	115	-3	0.97
	小田原北	78	75	73	-2	0.94
	大和東	238	225	224	-1	0.94
	青葉総合※	158	145	143	-2	0.91
	合 計	672	530	525	-5	0.78
	上段：普通科 下段：総合学科	158	145	143	-2	0.91
R7	田奈	158	96	99	3	0.63
	釜利谷	238	194	197	3	0.83
	横須賀南	118	139	134	-5	1.14
	大井	79	60	60	0	0.76
	大和東	239	254	242	-12	1.01
	合 計	832	743	732	-11	0.88
R6	田奈	159	72	73	1	0.46
	釜利谷	239	166	169	3	0.71
	横須賀南	119	118	113	-5	0.95
	大井	79	78	78	0	0.99
	大和東	239	264	252	-12	1.05
	合 計	835	698	685	-13	0.82
R5	田奈	158	56	56	0	0.35
	釜利谷	238	183	182	-1	0.76
	横須賀南	118	123	124	1	1.05
	大井	158	80	79	-1	0.50
	大和東	238	237	235	-2	0.99
	合 計	910	679	676	-3	0.74

※青葉総合高校は総合学科クリエイティブスクールのため、別集計とする。

3 集計結果

問1 他にどの検査を受けましたか。あてはまるものをすべて選んでください。

人数(割合)

項目 \ 年度	R5	R6	R7	R8	
				普通科	総合学科
この学校しか受検していない	352 (66.8%)	445 (74.0%)	451 (71.1%)	322 (78.2%)	102 (79.7%)
県内の私立高校（全日制課程）	157 (29.8%)	127 (21.1%)	148 (23.3%)	84 (20.4%)	20 (15.6%)
県外の私立高校（全日制課程）	10 (1.9%)	14 (2.3%)	10 (1.6%)	0 (0.0%)	3 (2.3%)
その他	14 (2.7%)	24 (4.0%)	29 (4.6%)	12 (2.9%)	7 (5.5%)

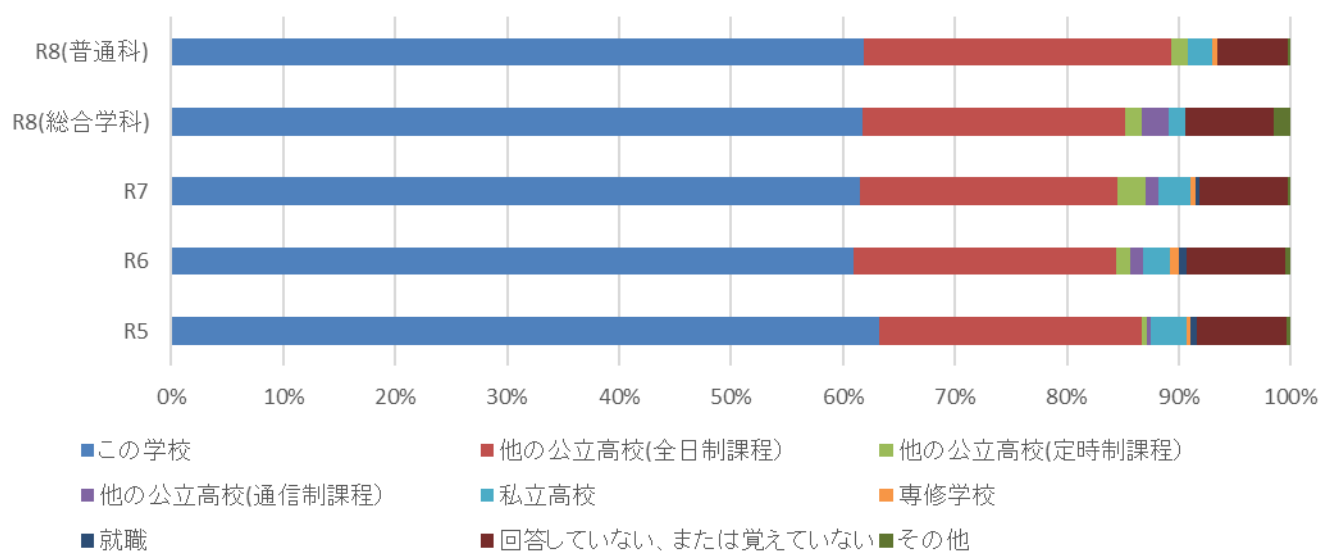
問2 中学校3年生の10月の進路希望調査で、第1希望をどのようにしていましたか。

あてはまるものを一つ選んでください。

人数(割合)

項目 \ 年度	R5	R6	R7	R8	
				普通科	総合学科
この学校	333 (63.2%)	366 (60.9%)	390 (61.5%)	255 (61.9%)	79 (61.7%)
他の公立高校 （全日制課程）	124 (23.5%)	141 (23.5%)	146 (23.0%)	113 (27.4%)	30 (23.4%)
他の公立高校 （定時制課程）	2 (0.4%)	8 (1.3%)	16 (2.5%)	6 (1.5%)	2 (1.6%)
他の公立高校 （通信制課程）	2 (0.4%)	7 (1.2%)	7 (1.1%)	0 (0.0%)	3 (2.3%)
私立高校	17 (3.2%)	14 (2.3%)	18 (2.8%)	9 (2.2%)	2 (1.6%)
専修学校	2 (0.4%)	5 (0.8%)	3 (0.5%)	2 (0.5%)	0 (0.0%)
就職	3 (0.6%)	4 (0.7%)	2 (0.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
回答していない、 または覚えていない	42 (8.0%)	53 (8.8%)	50 (7.9%)	26 (6.3%)	10 (7.8%)
その他・記入なし	2 (0.4%)	3 (0.5%)	2 (0.3%)	1 (0.2%)	2 (1.6%)

問2 中学校3年生の10月の進路希望調査で、 第1希望をどのようにしていましたか。

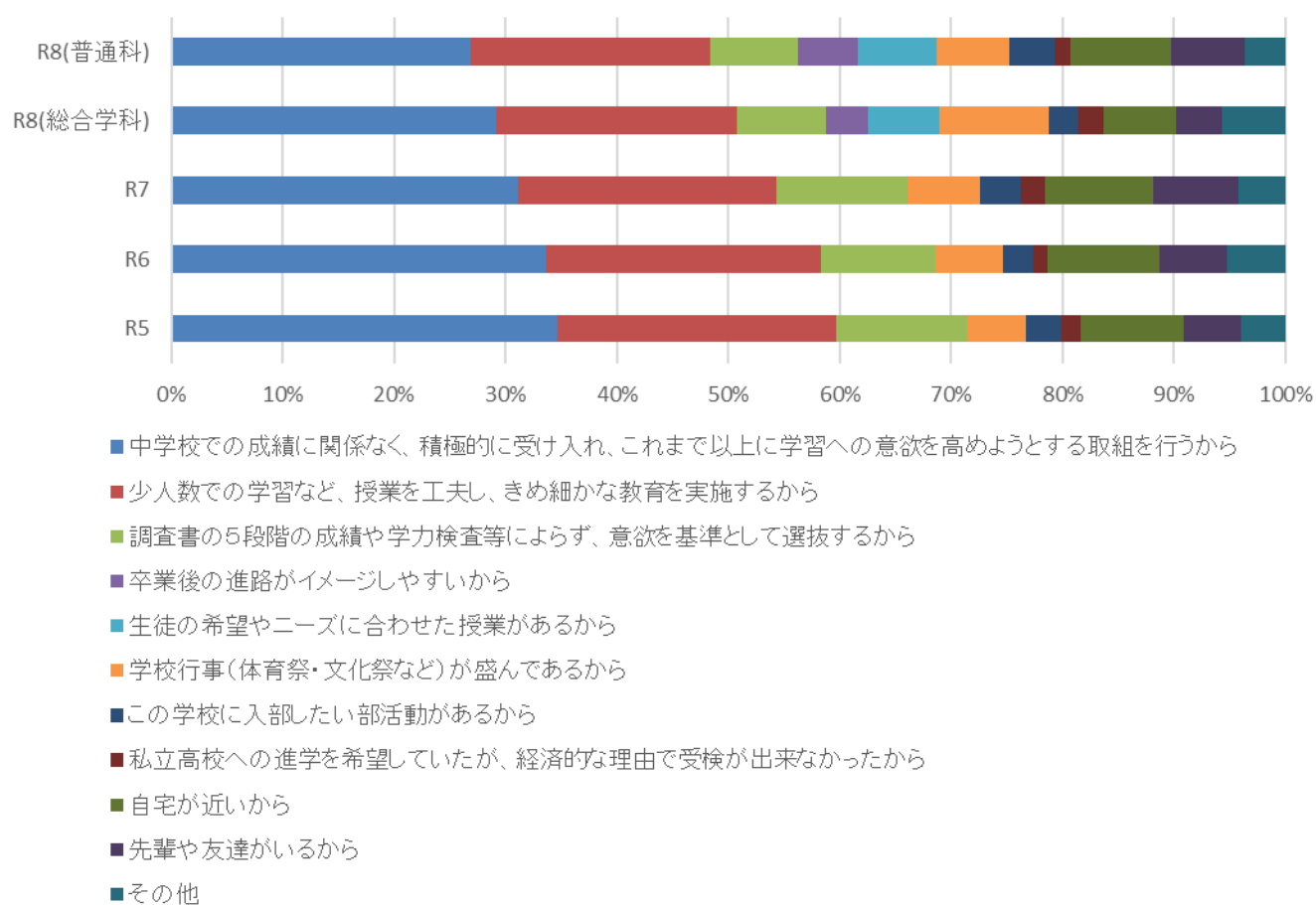


問3 この学校を選んだ理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

人数(割合)

項目 \ 年度	R5	R6	R7	R8	
				普通科	総合学科
中学校での成績に関係なく、積極的に受け入れ、これまで以上に学習への意欲を高めようとする取組を行うから	342 (64.9%)	364 (60.6%)	368 (58.0%)	245 (59.5%)	77 (61.7%)
少人数での学習など、授業を工夫し、きめ細かな教育を実施するから	248 (47.1%)	268 (44.6%)	274 (43.2%)	196 (47.6%)	57 (44.5%)
調査書の5段階の成績や学力検査等によらず、意欲を基準として選抜するから	116 (22.0%)	111 (18.5%)	140 (22.1%)	72 (17.5%)	21 (16.4%)
卒業後の進路がイメージしやすいから	--	--	--	48 (11.7%)	10 (7.8%)
生徒の希望やニーズに合わせた授業があるから	--	--	--	65 (15.8%)	17 (13.3%)
学校行事（体育祭・文化祭など）が盛んであるから	52 (9.9%)	66 (11.0%)	77 (12.1%)	59 (14.3%)	26 (20.3%)
この学校に入部したい部活動があるから	31 (5.9%)	30 (5.0%)	43 (6.8%)	38 (9.2%)	7 (5.5%)
私立高校への進学を希望していたが、経済的な理由で受検が出来なかったから	17 (3.2%)	14 (2.3%)	26 (4.1%)	12 (2.9%)	6 (4.7%)
自宅が近いから	92 (17.5%)	109 (18.1%)	115 (18.1%)	82 (19.9%)	17 (13.3%)
先輩や友達がいるから	50 (9.5%)	65 (10.8%)	90 (14.2%)	61 (14.8%)	11 (8.6%)
その他	40 (7.6%)	57 (9.5%)	50 (7.9%)	33 (8.0%)	15 (11.7%)

問3 この学校を選んだ理由は何ですか。 あてはまるものをすべて選んでください。

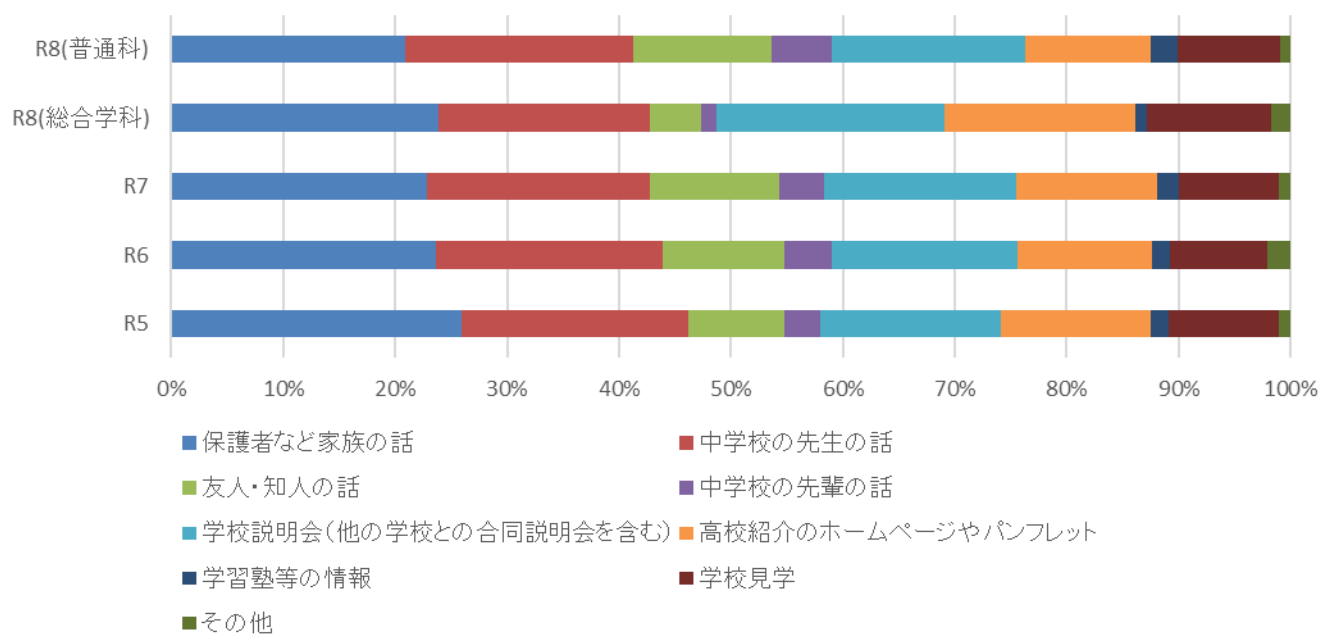


問4 この学校を選ぶにあたって、あなたは何を参考にしましたか。あてはまるものをすべて選んでください。

人数(割合)

項目 \ 年度	R5	R6	R7	R8	
				普通科	総合学科
保護者など家族の話	287 (54.5%)	311 (51.7%)	317 (50.0%)	199 (48.3%)	67 (52.3%)
中学校の先生の話	224 (42.5%)	266 (44.3%)	275 (43.4%)	193 (46.8%)	53 (41.4%)
友人・知人の話	95 (18.0%)	142 (23.6%)	160 (25.2%)	117 (28.4%)	13 (12.5%)
中学校の先輩の話	36 (6.8%)	56 (9.3%)	56 (8.8%)	51 (12.4%)	4 (3.1%)
学校説明会 (他の学校との合同説明会を含む)	179 (34.0%)	217 (36.1%)	238 (37.5%)	165 (40.0%)	57 (44.5%)
高校紹介のホームページやパンフレット	148 (28.1%)	159 (26.5%)	175 (27.6%)	106 (25.7%)	48 (37.5%)
学習塾等の情報	17 (3.2%)	20 (3.3%)	26 (4.1%)	23 (5.6%)	3 (2.3%)
学校見学	109 (20.7%)	115 (19.1%)	125 (19.7%)	87 (21.1%)	31 (24.2%)
その他	12 (2.3%)	27 (4.5%)	14 (2.2%)	9 (2.2%)	5 (3.9%)

問4 この学校を選ぶにあたって、あなたは何を参考にしましたか。あてはまるものをすべて選んでください。

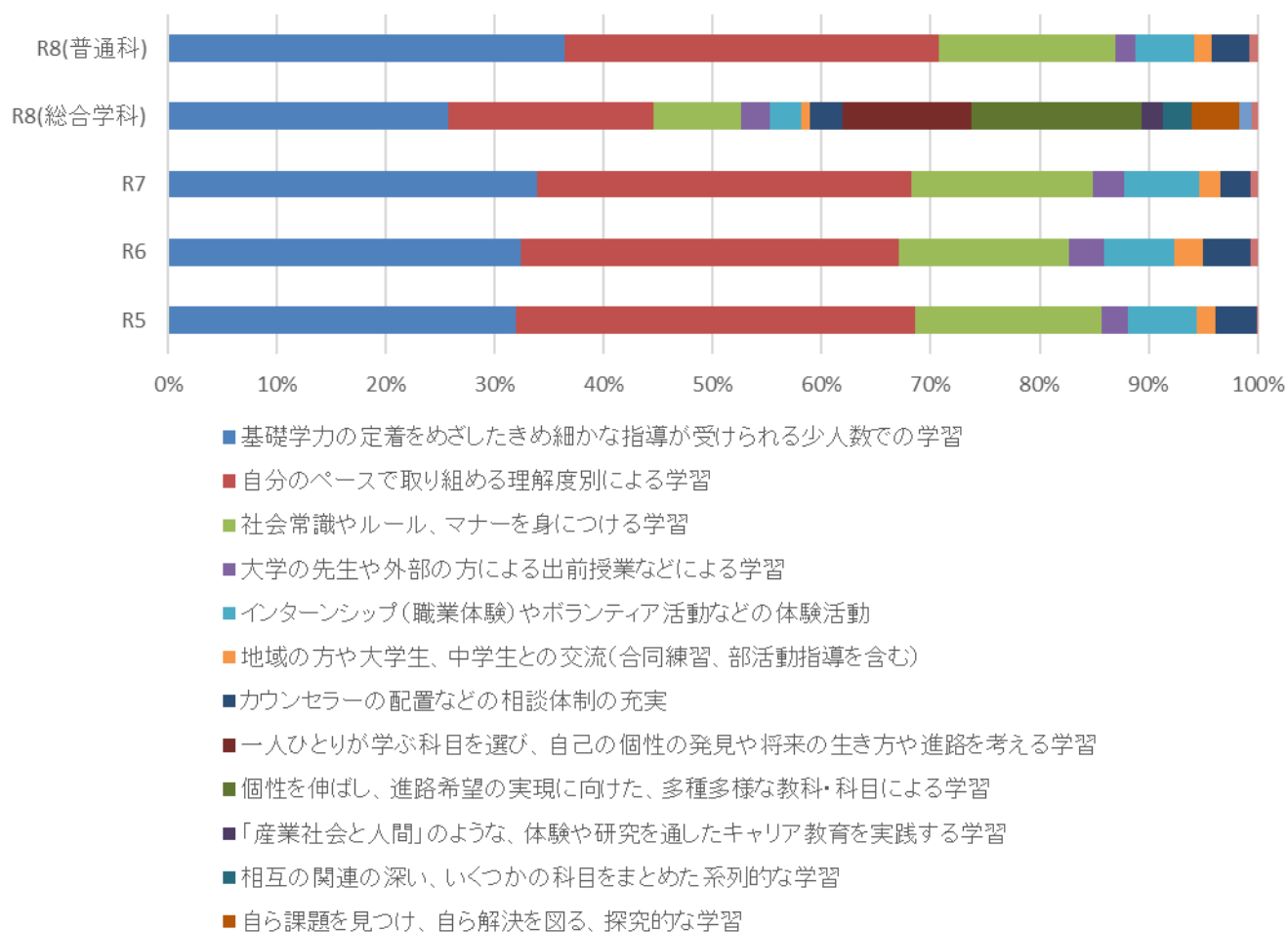


問5 あなたがクリエイティブスクールの取組に期待することは何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

人数(割合)

項目 \ 年度	R5	R6	R7	R8	
				普通科	総合学科
基礎学力の定着をめざしたきめ細かな指導が受けられる少人数での学習	319 (60.5%)	368 (61.2%)	391 (61.7%)	280 (68.0%)	89 (69.5%)
自分のペースで取り組める理解度別による学習	365 (69.3%)	395 (65.7%)	396 (62.5%)	264 (64.1%)	65 (50.8%)
社会常識やルール、マナーを身につける学習	171 (32.4%)	178 (29.6%)	193 (30.4%)	125 (30.3%)	28 (21.9%)
大学の先生や外部の方による出前授業などによる学習	24 (4.6%)	36 (6.0%)	33 (5.2%)	14 (3.4%)	9 (7.0%)
インターンシップ（職業体験）やボランティア活動などの体験活動	63 (12.0%)	74 (12.3%)	79 (12.5%)	41 (10.0%)	10 (7.8%)
地域の方や大学生、中学生との交流（合同練習、部活動指導を含む）	17 (3.2%)	30 (5.0%)	23 (3.6%)	13 (3.2%)	3 (2.3%)
カウンセラーの配置などの相談体制の充実	38 (7.2%)	49 (8.2%)	32 (5.0%)	26 (6.3%)	10 (7.8%)
一人ひとりが学ぶ科目を選び、自己の個性の発見や将来の生き方や進路を考える学習	--	--	--	--	41 (32.0%)
個性を伸ばし、進路希望の実現に向けた、多種多様な教科・科目による学習	--	--	--	--	54 (42.2%)
「産業社会と人間」のような、体験や研究を通したキャリア教育を実践する学習	--	--	--	--	7 (5.5%)
相互の関連の深い、いくつかの科目をまとめた系列的な学習	--	--	--	--	9 (7.0%)
自ら課題を見つけ、自ら解決を図る、探究的な学習	--	--	--	--	15 (11.7%)
地域と連携した取組を通し、社会において求められる人材を目指す活動	--	--	--	19 (4.6%)	4 (3.1%)
その他	1 (0.2%)	8 (1.3%)	7 (1.1%)	6 (1.5%)	2 (1.6%)

問5 あなたがクリエイティブスクールの取組に期待すること とは何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

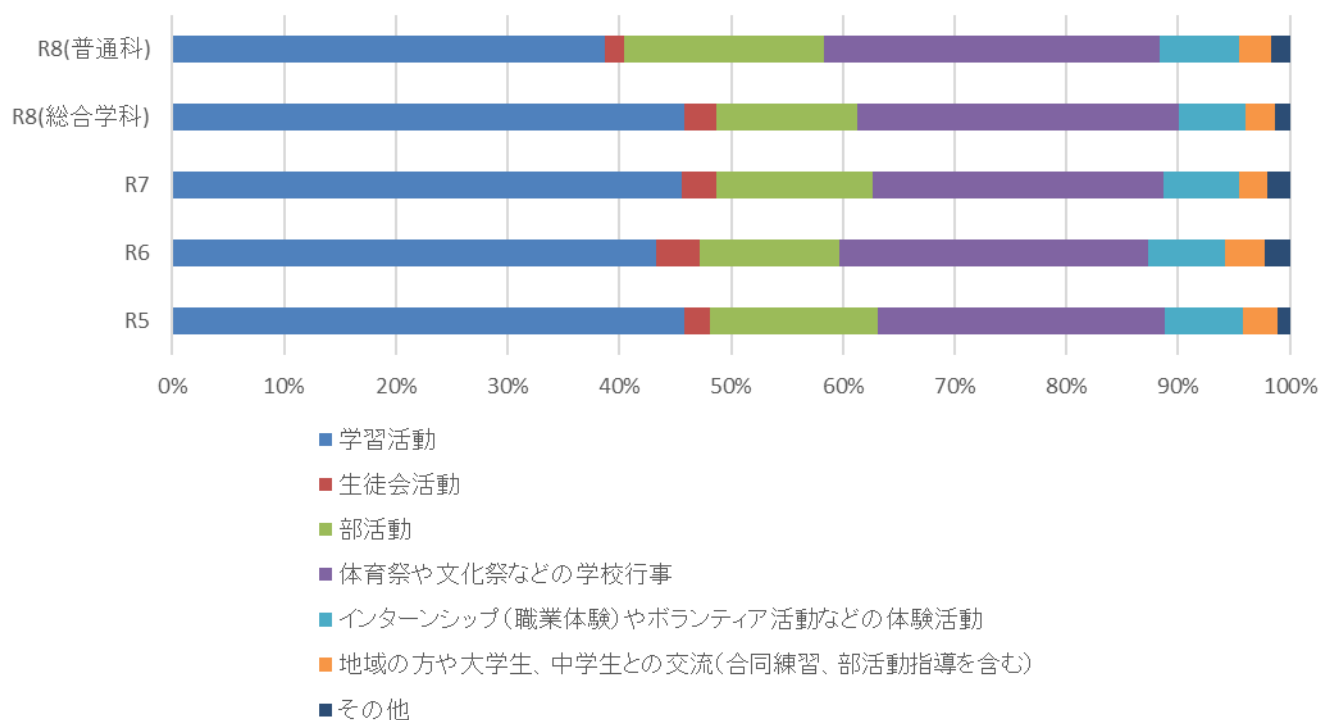


問6 あなたが学校生活で力を入れようと考えているのは何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

人数(割合)

項目 \ 年度	R5	R6	R7	R8	
				普通科	総合学科
学習活動	441 (83.7%)	462 (76.9%)	497 (78.4%)	332 (80.6%)	93 (72.7%)
生徒会活動	22 (4.2%)	42 (7.0%)	33 (5.2%)	20 (4.9%)	4 (3.1%)
部活動	144 (27.3%)	133 (22.1%)	153 (24.1%)	92 (22.3%)	43 (33.6%)
体育祭や文化祭などの学校行事	247 (46.9%)	295 (49.1%)	284 (44.8%)	208 (50.5%)	72 (56.3%)
インターンシップ（職業体験）やボランティア活動などの体験活動	67 (12.7%)	73 (12.1%)	73 (11.5%)	43 (10.4%)	17 (13.3%)
地域の方や大学生、中学生との交流（合同練習、部活動指導を含む）	30 (5.7%)	38 (6.3%)	28 (4.4%)	19 (4.6%)	7 (5.5%)
その他	11 (2.1%)	24 (4.0%)	22 (3.5%)	10 (2.4%)	4 (3.1%)

問6 あなたが学校生活で力を入れようと考えているのは何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。



自由記述 学校への要望や意見などがあればご自由に書いてください。

- ・頭髮を自由にして欲しい。
- ・部活の時間増やして欲しい。
- ・夏場のジャージでの登下校を許可してほしい。
- ・トイレに行く時間ない。
- ・福祉科と普通科の関わりをなくしてほしい。
- ・授業が欠課扱いになる不在時間が5分なのは短いです。お腹が痛くなったら欠課になってしまいます。
- ・授業を5分抜けると欠課扱いになるせいで急な腹痛が来たときトイレに行く勇気が出ません。
- ・私情なのですが、クラス別の全員の名簿が見れるようにしてほしいです。
- ・体育祭作ってほしい。
- ・ふりがながありすぎて読みづらいです。
- ・今回のアンケートは全ての漢字にふりがながあり、逆にとても読みにくかったです。簡単な漢字までふりがなが付いていて、内容に集中できませんでした。必要な漢字だけに付けてほしいです。
- ・ふりがなが多いです。漢字読めます。
- ・他クラスの教室へ出入りしたい。
- ・ふりがなのせいでとても読みにくいです。
- ・このアンケート、ふりがなが多くて逆に読みにくかったです。
- ・ふりがなをすべての漢字に振られると少々読みづらいので中学3年生や漢字検定4級からの漢字などに振ってくれれば嬉しいです。
- ・ふりがなが多すぎて文章を理解するのに時間がかかるから小中学校で習う漢字以外にふりがなを振らないように改善してほしい。
- ・体育祭は、ただ競技をするだけの行事ではなく、クラス全員で協力し、一つの目標に向かって努力することで、友情や信頼関係を深められる大切な機会だと思います。本校は日頃から「人との関わり」やコミュニケーションを大切にしている学校だからこそ、体育祭のように仲間と支え合いながら活動できる行事はとても重要だと感じます。普段あまり話さない人とも、練習や応援を通して自然に関わることができ、高校生活の思い出づくりにもつながります。文部科学省でも特別活動を通じた人間関係づくりや主体性の育成の重要性が示されています。高校生にとって「みんなで本気になれる時間」は限られているからこそ、本校にも体育祭を導入し、青春を感じられる学校生活を作ってほしいです。
- ・生徒の話をよく聞いてほしい。トラブルになったときに客観的に見て状況を説明してほしい。生徒指導の場合は理由も説明してほしいです。学校生活がより良いものになるようご協力お願いします。
- ・髪染めやメイクについて、派手じゃなければ自由にしてほしい。ピアスやネックレスは体育の時は外し、それ以外は認めるなど。
- ・体育祭のリレーをもっと増やしてほしい。
- ・髪染めをOKにして欲しい。
- ・ジャージでいたいです。
- ・授業妨害している(騒いでいたり、関係ない話を入れたり等)生徒をもう少し厳しくしてほしいです。

令和8年度クリエイティブスクール入学者対象アンケート用紙（普通科）

神奈川県教育委員会

このアンケートは、クリエイティブスクールに入学した皆さんの入学理由や学校生活に期待することなどを調査し、今後の教育に役立てるために行うものです。該当する項目の 〇 を塗りつぶしてください。

問1 他にどの検査を受けましたか。あてはまるものをすべて選んでください。

- この学校しか受検していない
- 県内の私立高校（全日制課程）
- 県外の私立高校（全日制課程）
- その他（ ）

問2 中学校3年生の10月の進路希望調査で、第1希望をどのようにしていましたか。あてはまるものを一つ選んでください。

- この学校
- 他の公立高校（全日制課程）
- 他の公立高校（定時制課程）
- 他の公立高校（通信制課程）
- 私立高校
- 専修学校
- 就職
- 回答していない、または覚えていない
- その他（ ）

問3 この学校を選んだ理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

- ☐ 〇 中学校での成績に関係なく、積極的に受け入れ、これまで以上に学習への意欲を高めようとする取組を行うから
- ☐ 〇 少人数での学習など、授業を工夫し、きめ細かな教育を実施するから
- ☐ 〇 調査書の5段階の成績や学力検査等によらず、意欲を基準として選抜するから
- ☐ 〇 卒業後の進路がイメージしやすいから
- ☐ 〇 生徒の希望やニーズに合わせた授業があるから
- ☐ 〇 学校行事（体育祭・文化祭など）が盛んであるから
- ☐ 〇 この学校に入部したい部活動があるから
- ☐ 〇 私立高校への進学を希望していたが、経済的な理由で受検ができなかったから
- ☐ 〇 自宅から近いから
- ☐ 〇 先輩や友達がいるから
- ☐ 〇 その他（ ）

問4 この学校を選ぶにあたって、あなたは何を参考にしましたか。あてはまるものをすべて選んでください。

- ☐ 保護者など家族の話
- ☐ 中学校の先生の話
- ☐ 友人・知人の話
- ☐ 中学校の先輩の話
- ☐ 学校説明会（他の学校との合同説明会を含む）
- ☐ 高校紹介のホームページやパンフレット
- ☐ 学習塾等の情報
- ☐ 学校見学
- ☐ その他（

問5 あなたがクリエイティブスクールの取組に期待することは何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

- ☐ 基礎学力の定着を目指したきめ細かな指導が受けられる少人数での学習
- ☐ 自分のペースで取り組める理解度別による学習
- ☐ 社会常識やルール、マナーを身に付ける学習
- ☐ 大学の先生や外部の方による出前授業などによる学習
- ☐ インターンシップ（職業体験）やボランティア活動などの体験活動
- ☐ 地域の方や大学生、中学生との交流（合同練習、部活動指導を含む）
- ☐ カウンセラーの配置など相談体制の充実
- ☐ 地域と連携した取組を通し、社会において求められる人材を目指す活動
- ☐ その他（

問6 あなたが学校生活で力を入れようと考えているのは何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

- ☐ 学習活動
- ☐ 生徒会活動
- ☐ 部活動
- ☐ 体育祭や文化祭などの学校行事
- ☐ インターンシップ（職業体験）やボランティア活動などの体験活動
- ☐ 地域の方や大学生、中学生との交流（合同練習、部活動指導を含む）
- ☐ その他（

学校への要望や意見などがあればご自由に書いてください。（特にない場合は、記入しなくてもかまいません。）

--

ご協力ありがとうございました。

神奈川県教育委員会

○ この学校しか受検していない

○ 県内の私立高校（全日制課程）

○ 県外の私立高校（全日制課程）

○ その他（ ）

○ この学校

○ 他の公立高校（全日制課程）

○ 他の公立高校（定時制課程）

○ 他の公立高校（通信制課程）

○ 私立高校

○ 専修学校

○ 就職

○ 回答していない、または覚えていない

○ その他（ ）

- ☐ 〇 中学校での成績に関係なく、積極的に受け入れ、これまで以上に学習への意欲を高めようとする取組を行うから
- ☐ 〇 少人数での学習など、授業を工夫し、きめ細かな教育を実施するから
- ☐ 〇 調査書の5段階の成績や学力検査等によらず、意欲を基準として選抜するから
- ☐ 〇 卒業後の進路がイメージしやすいから
- ☐ 〇 生徒の希望やニーズに合わせた授業があるから
- ☐ 〇 学校行事（体育祭・文化祭など）が盛んであるから
- ☐ 〇 この学校に入部したい部活動があるから
- ☐ 〇 私立高校への進学を希望していたが、経済的な理由で受検ができなかったから
- ☐ 〇 自宅から近いから
- ☐ 〇 先輩や友達がいるから
- ☐ 〇 その他（ ）

- 問 4 この学校を選ぶにあたって、あなたは何を参考にしましたか。あてはまるものをすべて選んでください。
- ☐ 保護者など家族の話
 - ☐ 中学校の先生の話
 - ☐ 友人・知人の話
 - ☐ 中学校の先輩の話
 - ☐ 学校説明会（他の学校との合同説明会を含む）
 - ☐ 高校紹介のホームページやパンフレット
 - ☐ 学習塾等の情報
 - ☐ 学校見学
 - ☐ その他（ ）
- 問 5 あなたが学校の取組に期待することは何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。
- ☐ 基礎学力の定着を目指したきめ細かな指導が受けられる少人数での学習
 - ☐ 自分のペースで取り組める理解度別による学習
 - ☐ 社会常識やルール、マナーを身に付ける学習
 - ☐ 大学の先生や外部の方による出前授業などによる学習
 - ☐ インターンシップ（職業体験）やボランティア活動などの体験活動
 - ☐ 地域の方や大学生、中学生との交流（合同練習、部活動指導を含む）
 - ☐ カウンセラーの配置など相談体制の充実
 - ☐ 一人ひとりが学ぶ科目を選び、自己の個性の発見や将来の生き方や進路を考える学習
 - ☐ 個性を伸ばし、進路希望の実現に向けた、多種多様な教科・科目による学習
 - ☐ 「産業社会と人間」のような、体験や研究を通したキャリア教育を実践する学習
 - ☐ 相互の関連の深い、いくつかの科目をまとめた系列的な学習
 - ☐ 自ら課題を見つけ、自ら解決を図る、探究的な学習
 - ☐ 地域と連携した取組を通し、社会において求められる人材を目指す活動
 - ☐ その他（ ）
- 問 6 あなたが学校生活で力を入れようと考えているのは何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。
- ☐ 学習活動
 - ☐ 生徒会活動
 - ☐ 部活動
 - ☐ 体育祭や文化祭などの学校行事
 - ☐ インターンシップ（職業体験）やボランティア活動などの体験活動
 - ☐ 地域の方や大学生、中学生との交流（合同練習、部活動指導を含む）
 - ☐ その他（ ）

学校への要望や意見などがあればご自由にご書いてください。（特にない場合は、記入しなくてもかまいません。）

ご協力ありがとうございました。

令和9年度神奈川県立の高等学校の入学者の募集及び選抜の日程

参考資料

令和9年度（案）

（参考）令和8年度

月日	曜	事 項
1/21	木	
22	金	★県内私学推薦入試解禁日
23	土	
24	日	
25	月	共通選抜 募集期間(全・定・通・別)【志願情報申請期間】
26	火	
27	水	
28	木	
29	金	
30	土	
31	日	
2/1	月	共通選抜 募集期間(全・定・通)【中学校長承認期間】
2	火	
3	水	
4	木	共通選抜 志願変更期間(全・定・通)【志願変更情報申請期間】
5	金	
6	土	
7	日	
8	月	共通選抜 志願変更期間(全・定・通)【中学校長承認期間】
9	火	
10	水	★県内私学一般入試解禁日
11	木	建国記念の日
12	金	
13	土	
14	日	
15	月	
16	火	共通選抜 共通検査(学力検査等)・特色検査 (全・定・通・別)
17	水	共通選抜 特色検査 (全・定・通・別)
18	木	共通選抜 特色検査 (全・定・通・別)
19	金	(特色検査) (全・定・通・別)
20	土	
21	日	
22	月	追検査(全・定・別) (※1) (※2) (※3)
23	火	天皇誕生日
24	水	
25	木	
26	金	共通選抜 合格発表(全・定・通・別)
27	土	★県内私学入学手続き締切日(以降)
28	日	
3/1	月	
2	火	
3	水	二次募集 募集期間(全・定(夜間以外))
4	木	定通分割選抜 募集期間(定(夜間)・通)
5	金	二次募集 志願変更期間(全・定(夜間以外))
6	土	
7	日	
8	月	定通分割選抜 志願変更日(定(夜間)・通)
9	火	二次募集 学力検査(英国数)等(全・定(夜間以外))
10	水	
11	木	
12	金	二次募集 合格発表 (全・定(夜間以外))
13	土	
14	日	
15	月	定通分割選抜 共通検査(学力検査等)・特色検査 (定(夜間)・通)
16	火	定通分割選抜 特色検査(定(夜間)・通)
17	水	
18	木	
19	金	定通分割選抜 合格発表(定(夜間)・通)
20	土	
21	日	
22	月	春分の日
23	火	
24	水	
25	木	
26	金	
27	土	

月日	曜	事 項
1/21	水	
22	木	★県内私学推薦入試解禁日
23	金	共通選抜 募集期間(全・定・通・別)【志願情報申請期間】
24	土	
25	日	
26	月	
27	火	
28	水	
29	木	
30	金	共通選抜 募集期間(全・定・通)【中学校長承認期間】
31	土	
2/1	日	
2	月	
3	火	
4	水	共通選抜 志願変更期間(全・定・通)【志願変更情報申請期間】
5	木	
6	金	
7	土	
8	日	
9	月	共通選抜 志願変更期間(全・定・通)【中学校長承認期間】
10	火	★県内私学一般入試解禁日
11	水	建国記念の日
12	木	
13	金	
14	土	
15	日	
16	月	
17	火	共通選抜 共通検査(学力検査等)・特色検査 (全・定・通・別)
18	水	共通選抜 特色検査 (全・定・通・別)
19	木	共通選抜 特色検査 (全・定・通・別)
20	金	(特色検査) (全・定・通・別)
21	土	
22	日	
23	月	天皇誕生日
24	火	追検査(全・定・別) (※1) (※2) (※3)
25	水	
26	木	
27	金	共通選抜 合格発表(全・定・通・別)
28	土	★県内私学入学手続き締切日(以降)
29	日	
3/1	日	
2	月	
3	火	
4	水	二次募集 募集期間(全・定(夜間以外))
5	木	定通分割選抜 募集期間(定(夜間)・通)
6	金	二次募集 志願変更期間(全・定(夜間以外))
7	土	
8	日	
9	月	定通分割選抜 志願変更日(定(夜間)・通)
10	火	二次募集 学力検査(英国数)等(全・定(夜間以外))
11	水	
12	木	
13	金	二次募集 合格発表 (全・定(夜間以外))
14	土	
15	日	
16	月	定通分割選抜 共通検査(学力検査等)・特色検査 (定(夜間)・通)
17	火	定通分割選抜 特色検査(定(夜間)・通)
18	水	
19	木	定通分割選抜 合格発表(定(夜間)・通)
20	金	春分の日
21	土	
22	日	
23	月	
24	火	
25	水	
26	木	
27	金	

(注)私立の日程については令和7年度入学選抜期日等に準じて記載しており、予定を含む。変更があった場合には、次回開催以降の公私立高等学校協議会において報告。

神奈川県内公立高等学校入学選抜期日等に関する申し合わせ事項等

参考資料

年度	公私協開催日	私立入学者選抜期日		公立入学者選抜期日		公私立入学者選抜に関するすべての行為	公立合格者発表期日		私立高校の入学金以外の納入締切日
R9	書面協議会 R8.4.〇付で 文書送付	推薦	1月22日（金） 以降			推薦	1月21日（木） 以前には行わない		
		一般	2月10日（水） 以降	共通 選抜	2月16日（火） ～18日（木）	一般	2月9日（火） 以前には行わない	共通 選抜	2月26日（金）

公立高等学校入学選抜期日は、公立高等学校設置会議での合意を経て、各教育委員会が「入学者の募集及び選抜要綱」として決定するものである。

(注)私立の日程については令和8年度入学者選抜期日等に準じて記載しており、予定を含む。変更があった場合には、次回開催以降の公私立高等学校協議会において報告。

年度	公私協開催日	私立入学者選抜期日		公立入学者選抜期日		公私立入学者選抜に関するすべての行為	公立合格者発表期日		私立高校の入学金以外の納入締切日	(参考)東京都
R8	書面協議会 R7.4.8付で 文書送付	推薦	1月22日（木） 以降			推薦	1月21日（水） 以前には行わない			R8 公立推薦 1/26、27 ＃ 発表 2/2 私立推薦 1/22後 公立検査 2/21 ＃ 発表 3/2 私立検査 2/10後
		一般	2月10日（火） 以降	共通 選抜	2月17日（火） ～19日（木）	一般	2月9日（月） 以前には行わない	共通 選抜	2月27日（金）	
R7	書面協議会 R6.4.6付で 文書送付	推薦	1月22日（水） 以降			推薦	1月21日（火） 以前には行わない			R7 公立推薦 1/26、27 ＃ 発表 1/31 私立推薦 1/22後 公立検査 2/21 ＃ 発表 3/3 私立検査 2/10後
		一般	2月10日（月） 以降	共通 選抜	2月14日（金） ～18日（火） ※土・日に検査等は 実施しない。	一般	2月9日（日） 以前には行わない	共通 選抜	2月28日（金）	
R6	R5.4.6 (書面協議会)	推薦	1月22日（月） 以降			推薦	1月21日（日） 以前には行わない			R6 公立推薦 1/26、27 ＃ 発表 2/2 私立推薦 1/22後 公立検査 2/21 ＃ 発表 3/1 私立検査 2/10後
		一般	2月10日（土） 以降	共通 選抜	2月14日（水） ～16日（金）	一般	2月9日（金） 以前には行わない	共通 選抜	2月28日（水）	
R5	R4.4.7 (書面協議会)	推薦	1月22日（日） 以降			推薦	1月21日（土） 以前には行わない			R5 公立推薦 1/26、27 ＃ 発表 2/2 私立推薦 1/22後 公立検査 2/21 ＃ 発表 3/1 私立検査 2/10後
		一般	2月10日（金） 以降	共通 選抜	2月14日（火） ～16日（木）	一般	2月9日（木） 以前には行わない	共通 選抜	2月28日（火）	
R4	R3.4.9 (書面協議会)	推薦	1月22日（土） 以降			推薦	1月21日（金） 以前には行わない			R4 公立推薦 1/26、27 ＃ 発表 2/2 私立推薦 1/22後 公立検査 2/21 ＃ 発表 3/1 私立検査 2/10後
		一般	2月10日（木） 以降	共通 選抜	2月15日（火） ～17日（木）	一般	2月9日（水） 以前には行わない	共通 選抜	3月1日（火）	
R3	R2.4.10 (書面協議会)	推薦	1月22日（金） 以降			推薦	1月21日（木） 以前には行わない			R3 公立推薦 1/26 ＃ 発表 2/2 私立推薦 1/22後 公立検査 2/21 ＃ 発表 3/2 私立検査 2/10後
		一般	2月10日（水） 以降	共通 選抜	2月15日（月） ～17日（水）	一般	2月9日（火） 以前には行わない	共通 選抜	3月1日（月）	
R2	H31.4.10 (書面協議会)	推薦	1月22日（水） 以降			推薦	1月21日（火） 以前には行わない			R2 公立推薦 1/26 ＃ 発表 1/31 私立推薦 1/22後 公立検査 2/21 ＃ 発表 3/2 私立検査 2/10後
		一般	2月10日（月） 以降	共通 選抜	2月14日（金） ～18日（火） ※土・日に検査等は 実施しない。	一般	2月9日（日） 以前には行わない	共通 選抜	2月28日（金）	
H31	H30.4.11 (書面協議会)	推薦	1月22日（火） 以降			推薦	1月21日（月） 以前には行わない			H31 公立推薦 1/26 ＃ 発表 2/1 私立推薦 1/22後 公立検査 2/22 ＃ 発表 3/1 私立検査 2/10後
		一般	2月10日（日） 以降	共通 選抜	2月14日（木） ～18日（月） ※土・日に検査等は 実施しない。	一般	2月9日（土） 以前には行わない	共通 選抜	2月27日（木）	
H30	H29.4.12 (書面協議会)	推薦	1月22日（月） 以降			推薦	1月21日（日） 以前には行わない			H30 公立推薦 1/26 ＃ 発表 2/1 私立推薦 1/22後 公立検査 2/23 ＃ 発表 3/1 私立検査 2/10後
		一般	2月10日（土） 以降	共通 選抜	2月14日（水） ～16日（金）	一般	2月9日（金） 以前には行わない	共通 選抜	2月27日（火）	
H29	H28.6.15 (書面協議会)	推薦	1月22日（日） 以降			推薦	1月21日（土） 以前には行わない			H29 公立推薦 1/26 ＃ 発表 2/2 私立推薦 1/22後 公立検査 2/24 ＃ 発表 3/2 私立検査 2/10後
		一般	2月10日（金） 以降	共通 選抜	2月15日（水） ～17日（金）	一般	2月9日（木） 以前には行わない	共通 選抜	2月28日（火）	
H28	H27.4.15 (書面協議会)	推薦	1月22日（金） 以降			推薦	1月21日（木） 以前には行わない			H28 公立推薦 1/26 ＃ 発表 2/2 私立推薦 1/22後 公立検査 2/24 ＃ 発表 3/2 私立検査 2/10後
		一般	2月10日（水） 以降	共通 選抜	2月16日（火） ～18日（木）	一般	2月9日（火） 以前には行わない	共通 選抜	2月29日（月）	